

国 指 定 史 跡

# 崎 山 貝 塚

第IV期内容確認調査概報（骨角器篇）



2009. 3

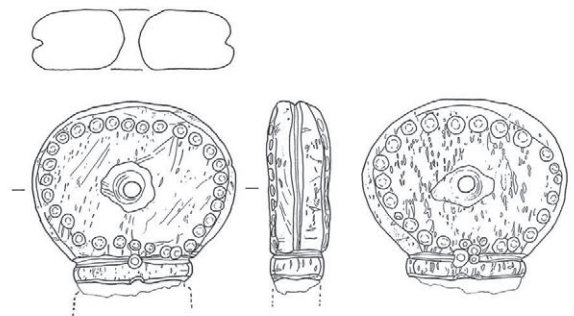
岩手県宮古市教育委員会



国 指 定 史 跡

# 崎 山 貝 塚

第IV期内容確認調査概報（骨角器篇）



2009. 3

岩手県宮古市教育委員会

The Miyako Board of Education  
Miyako, Iwate, Japan





口絵1 北貝塚出土骨角器(漁具類)





口絵2 北貝塚出土骨角器(利器・工具類)







口絵3 北貝塚出土骨角器(装飾品類)



# 序 文

崎山貝塚は宮古湾北部に位置する縄文時代の貝塚ですが、海岸線から1 km以上も離れた森の中にあるので、遺跡に立っても海を望むことはできません。今から数千年も前の人びとは、なぜ海から遠く離れた森の中の集落にあえて海の幸を運び上げて、貝塚を作ったのか。謎は深まるばかりです。

私たちが崎山貝塚の保存を目的として昭和61年に発掘調査に着手してから、今年で23年目となります。手探り状態で始めた発掘調査でしたが、皆様のご指導やご協力により平成8年7月16日に国史跡としての指定を受けることができました。

本書は史跡指定後の整備計画立案に向けて、平成10年から平成15年に実施した第IV期内容確認調査の内容をとりまとめた調査概報であります。発掘調査の結果、北貝塚から出土した釣針や銚頭などの骨角器は土器文化圏が共通する東北地方南部と類似するものばかりではなく、東北地方北部から北海道と共通する特徴を有することも確認することができました。

崎山貝塚の縄文人たちが、土器の文化圏を超えて北の骨角器文化圏とも交流を行っていたということは、まさに驚きと言えます。

このような発掘調査成果は崎山貝塚の史跡整備事業のなかで、市民のみなさんにも分かりやすい形で公開できるように心がけてまいります。

最後になりましたが、発掘調査のみならず史跡整備事業の全般にわたりご指導をいただいております崎山貝塚史跡整備検討委員会の先生方、文化庁、岩手県教育委員会をはじめとする関係機関並びに研究者の方々、地権者及び地区住民の方々、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。序文といたします。

平成21年3月

宮古市教育委員会

教育長 中 屋 定 基

# 例 言

1. 本書は国庫補助を受けて平成10年度から平成15年度にかけて実施した国指定史跡崎山貝塚第IV期内容確認調査の調査概報である。

尚、本書は整理作業の終了した骨角器についてのみ記載したものであり、他の遺物類等については次年度以降概報を作成することとする。

2. 本書に記載する第IV期内容確認調査出土骨角器については、本書以前に刊行された発掘調査現地説明会資料・広報・企画展展示図録などの刊行物等の記載内容との間に相違点がある場合には本書をもって訂正する。

3. 発掘調査の主体は宮古市教育委員会で、発掘調査および本書の執筆・編集は高橋が担当し、骨角器の写真撮影は鎌田・布谷が担当した。

また、骨角器の分類および記載については西本豊弘・熊谷常正両氏のご指導をいただいた。

4. 発掘調査の調査座標は平面直角座標第X系を座標交換して使用したが、調査用の局地的な座標系であることを明示するためにRを冠して表示した。

座標軸方向 第X系に準じる

調査座標原点 X -35,800.000 Y +97,000.000

また、発掘調査の実施に際しては、斜面と直交する幅3mの調査トレンチを設定した上で、この中に3m×3mを単位とするグリッドを設定した。

5. 高さは標高値をそのまま使用した。

6. 骨角器の図示については縮尺を2/3とし、一部1/3も併用した。

尚、図化については使用痕を主体としたため、調整痕については一部表現を省略したものもある。

7. 本文中の引用文献は次のとおりとした。

1995 『崎山貝塚 範囲確認調査』 高橋憲太郎ほか → 『崎山貝塚95』

1999 『崎山貝塚－第12次・第13次内容確認調査概報』 高橋憲太郎 → 『崎山概報99』

# 目 次

序 文	
例 言	
目 次	
I 調査経過	1
1 発掘調査の計画とその経過	1
(1) 第I期・第II期範囲確認調査	1
(2) 第III期内容確認調査	2
(3) 第IV期内容確認調査	2
2 史跡指定	2
3 調査要旨	4
4 調査の体制	9
(1) 崎山貝塚史跡整備検討委員会	9
(2) 事務局体制	9
(3) 指導者・協力者	10
II 北貝塚の内容確認調査について	11
1 調査の目的と調査区の設定について	11
2 発掘調査の経過	12
3 基本層序	14
III 北貝塚出土の骨角器	28
1 骨角器の出土状況	28
2 骨角器の種別と形態について	28
(1) 銚頭	28
(2) ヤス	30
(3) 釣針	30
(4) ヘラ	36
(5) リタッチャー	38
(6) 骨針	38
(7) 刺突具	42
(8) 髪針(ヘアピン)	46
(9) 櫛	46
(10) 耳飾り	46
(11) 垂飾品類	48
(12) 腕輪	48
(13) 指輪状製品	48

(14) 札状製品 .....	50
(15) 鯨骨製品 .....	50
(16) 加工痕のある素材 .....	50
IV 調査のまとめ .....	62

## 写真図版目次

PL.01	崎山貝塚周辺海岸線航空写真(1987)・崎山地区航空写真(1986)
PL.02	崎山貝塚垂直写真(1998)・崎山貝塚垂直写真(2008)
PL.03	崎山貝塚航空写真(1986)・崎山貝塚航空写真(1995)・崎山貝塚航空写真(2000)
PL.04	北貝塚調査区全景(1999)・北貝塚調査区遺物出土状況(1995)・北貝塚調査区全景(2003)・北貝塚調査区中掘火山灰検出状況(2003)
PL.05	No. 5 G、NSM-181層骨角器(145)等出土状況(2004)・No. 5 G、NSM-181層骨角器(001)等出土状況(2004)
PL.06	No. 4 G、NSM-034層骨角器(139)出土状況(1999)・No. 6 G、NSM-053層骨角器(137)出土状況(1999)・No. 6 G、NSM-060層骨角器(034)出土状況(1999)
PL.07	No. 5 G、NSM-054層骨角器(126)出土状況(1999)・No. 6 G、NSM-070層骨角器(086)出土状況(1999)・No. 6 G、NSM-070層骨角器(086)出土状況(1999)
PL.08	No. 6 G、NSM-075層骨角器(146)出土状況(1999)・No. 5～6 G、NSM-151層骨角器(083)出土状況(2000)・No. 5 G、NSM-155層骨角器(002)出土状況(2000)
PL.09	No. 5 G、NSM-155層骨角器(054)出土状況(2000)・No. 4 G、NSM-206層骨角器(014)出土状況(2000)・No. 4 G、NSM-224層骨角器(118)出土状況(2000)
PL.10	No. 3 G、NSM-236層骨角器(066)出土状況(1999)・No. 4 G、NSM-248層骨角器(103)出土状況(2000)・No. 5 G、NSM-263層骨角器(119)出土状況(2000)
PL.11	No. 4 G、NSM-263層骨角器(015)出土状況(2000)・No. 4 G、NSM-271層骨角器(068)出土状況(2000)・No. 3 G、NSM-323層骨角器(088)出土状況(2001)
PL.12	No. 4～5 G、NSM-034層縄文土器出土状況(1999)・No. 5 G、NSM-152層人骨(尺骨)出土状況(2000)・No. 4 G、NSM-258層シカ下顎骨出土状況(1999)
PL.13	No. 3 G、NSM-352層アシカ下顎骨出土状況(2003)・No. 4～5 G、NSM-207層オットセイ下顎骨出土状況(2000)・No. 5～6 G、NSM-026層カツオ椎骨出土状況(1999)
PL.14	北貝塚調査状況スナップ
PL.15	北貝塚出土骨角器(1)
PL.16	北貝塚出土骨角器(2)
PL.17	北貝塚出土骨角器(3)
PL.18	北貝塚出土骨角器(4)
PL.19	北貝塚出土骨角器(5)

- PL.20 北貝塚出土骨角器(6)
- PL.21 北貝塚出土骨角器(7)
- PL.22 北貝塚出土骨角器(8)
- PL.23 北貝塚出土骨角器(9)
- PL.24 北貝塚出土骨角器(10)
- PL.25 北貝塚出土骨角器(11)
- PL.26 北貝塚出土骨角器(12)
- PL.27 北貝塚出土骨角器(13)
- PL.28 北貝塚出土骨角器(14)
- PL.29 北貝塚出土骨角器(15)
- PL.30 北貝塚出土骨角器(16)
- PL.31 北貝塚出土骨角器(17)

- 口絵 1 北貝塚出土骨角器(漁具類)
- 口絵 2 北貝塚出土骨角器(利器・工具類)
- 口絵 3 北貝塚出土骨角器(装飾品類)

本文挿入写真 1	第1次調査作業風景(1986).....	1
本文挿入写真 2	第2次調査作業風景(1987) .....	1
本文挿入写真 3	第3次調査区全景(1988) .....	1
本文挿入写真 4	第6次調査作業風景(1991) .....	1
本文挿入写真 5	第9次調査区全景(1993) .....	1
本文挿入写真 6	崎山貝塚調査指導委員会による指導風景(1994) .....	2
本文挿入写真 7	第11次調査区全景(1994) .....	2
本文挿入写真 8	崎山貝塚調査指導委員会による指導風景(1995) .....	2
本文挿入写真 9	崎山貝塚史跡整備検討委員会による市民談話会(1998) .....	2
本文挿入写真 10	第16次調査現地説明会(2000) .....	2

# 挿 図 目 次

第1図	崎山地区遺跡分布図	3
第2図	崎山貝塚周辺地形図	5・6
第3図	崎山貝塚集落跡検出遺構配置図	7・8
第4図	北貝塚調査トレンチ平面図	12
第5図	北貝塚第15次～第19次調査区断面図	13
第6図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(1)	15
第7図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(2)	16
第8図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(3)	17
第9図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(4)	18
第10図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(5)	19
第11図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(6)	20
第12図	北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(7)	21
第13図	No. 5 G・NSM-181層遺物出土状況	29
第14図	銚頭の部位名称	30
第15図	釣針の部位名称	30
第16図	北貝塚出土骨角器(1)	31
第17図	北貝塚出土骨角器(2)	32
第18図	北貝塚出土骨角器(3)	33
第19図	北貝塚出土骨角器(4)	35
第20図	北貝塚出土骨角器(5)	37
第21図	北貝塚出土骨角器(6)	39
第22図	北貝塚出土骨角器(7)	40
第23図	北貝塚出土骨角器(8)	41
第24図	北貝塚出土骨角器(9)	43
第25図	北貝塚出土骨角器(10)	44
第26図	北貝塚出土骨角器(11)	45
第27図	北貝塚出土骨角器(12)	47
第28図	北貝塚出土骨角器(13)	49
第29図	北貝塚出土骨角器(14)	51
第30図	北貝塚出土骨角器(15)	52
第31図	北貝塚出土骨角器(16)	53
第32図	北貝塚出土骨角器(17)	54



# 付 表 目 次

第1表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(1)	22
第2表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(2)	23
第3表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(3)	24
第4表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(4)	25
第5表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(5)	26
第6表	北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(6)	27
第7表	北貝塚出土骨角器一覧表(1)	55
第8表	北貝塚出土骨角器一覧表(2)	56
第9表	北貝塚出土骨角器一覧表(3)	57
第10表	北貝塚出土骨角器一覧表(4)	58
第11表	北貝塚出土骨角器一覧表(5)	59
第12表	北貝塚出土骨角器一覧表(6)	60
第13表	北貝塚出土骨角器一覧表(7)	61

## 付属 DVD について

内 容 本誌に記載した写真図版・挿図・付表をPDF形式にて記録。

### 動作環境

CPU	インテル® 1.3 GHzクラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
OS	Microsoft® Windows XP または Windows Vista 日本語版
RAM	128MB以上(256MB以上を推奨)
ハードディスク	335MB以上の空き容量
ソフトウェア	Adobe® Reader® 9 以降、 Adobe Flash Player 9 以降、 Microsoft Internet Explorer 6.0、6.0 (Service Pack 1)、または7.0、Firefox 2.0 または3.0

### 注意事項

DVDに含まれる写真、図版、表、イラスト等の全ては著作権法により保護されています。無断複製、転用等は著作権法の罰則の対象になりますのでご注意ください。また、このDVDのプログラムを分解、改造したりすることを固く禁じます。

このDVDの全部、または一部を賃貸業に使用すること、ネットワーク等で配布すること、内容を転用すること、営利目的で使用することを禁止します。

このDVDを使用することによって発生した直接的、間接的なデータ・プログラム等のいかなる損害についても一切の責任を負わないものとします。



# I 調査経過

## 1 発掘調査の計画とその経過

宮古市は崎山貝塚の保存を前提とし、その遺跡範囲と内容を把握するために国庫補助及び県費補助を受けて、昭和61(1986)年度から平成15(2003)年度にかけて第IV期・19次に及ぶ発掘調査を実施してきた。この概要は次のとおりである。

### (1) 第I期・第II期範囲確認調査

第I期範囲調査は崎山貝塚における遺構や遺物の分布状況と遺跡の範囲を確認することを目的として計画したものであり、昭和61年度から平成2(1990)年度までの5カ年で5次にわたり、宮古市教育委員会が選定した台地上の集落跡・南貝塚・北貝塚にて発掘調査を実施した。

第II期範囲確認調査は岩手県教育委員会の指導に基づき第I期範囲確認調査を補足するために計画したものであり、平成3(1991)年から平成5(1993)年度までの5カ年で3次にわたり台地上の集落跡・北貝塚・東包含層・低湿地にて発掘調査を実施した。

また、この間個人住宅建築(平成3年度-第6次調査)と、市農林課による農道建設に先立つ緊急調査(平成5年度-第10次調査・原因者負担)にも対応している。

この範囲確認調査の成果により、崎山貝塚の重要性を認識した宮古市は崎山貝塚の保存に関する基本方針を固め、文化庁および岩手県教育委員会の指導に基づき平成6年度に「崎山貝塚調査指導委員会」を設置した上で、専門的な指導と助言に基づく内容確認調査を実施し、崎山貝塚の内容をより詳細に探ることとした。

これらの発掘調査成果報告については、昭和61年度から平成5年度までは年度毎に調査概報(『崎山遺跡群I~VIII』)を作成し、その概要を報告している。



第1次調査作業風景(1986)



第2次調査作業風景(1987)



第3次調査区全景(1988)



第6次調査作業風景(1991)



第9次調査区全景(1993)

## (2) 第Ⅲ期内容確認調査

第Ⅲ期内容確認調査は「崎山貝塚調査指導委員会」の指導に基づいて選定した中央広場・東集落・北貝塚を対象として計画したもので、平成6(1994)年度から平成8(1996)年度までの3ヶ年で3次にわたっている。

この発掘調査の主な目的は、集落中央部の広場や環状溝の時期と性格を探ることと、東集落における竪穴住居跡などの遺構のあり方を探ることであり、同時にこの発掘調査をとおして崎山貝塚が国指定史跡とするべき価値のある遺跡であることを具体的に説明できる調査データの提示も目的としていた。

尚、昭和61年度の第1次調査より平成6年度に実施した第11次調査までを区切りとして、平成7(1995)年3月に正報告書である『崎山貝塚範囲確認調査報告書』を刊行し、崎山貝塚の発掘調査内容を正式に報告した。

更に、第Ⅲ期内容確認調査の第12次調査及び第13次調査については平成11(1999)年3月に調査概報(『崎山貝塚-第12次・第13次内容確認調査概報-』)を刊行している。

## (3) 第Ⅳ期内容確認調査

史跡指定後に計画された第Ⅳ期内容確認調査は「崎山貝塚史跡整備検討委員会」の指導と助言に基づくもので、平成10(1998)年度から平成15(2003)年度までの6カ年で6次にわたり実施した。この発掘調査の主な目的は、調査データが希薄であった北貝塚の詳細な情報を得ることと、北貝塚と集落との関係を探ることであり、この調査データは史跡整備計画に反映させることとした。この後、平成16年度から平成20年度の室内整理作業を経て今回の調査概報(骨角器編)作成に至っている。

## 2 史跡指定

発掘調査の進捗に伴い崎山貝塚の内容が次第に明らかになると、考古学会のみならず社会的にも注目



崎山貝塚調査指導委員会による指導風景(1994)



第11次調査区全景(1994)



崎山貝塚調査指導委員会による指導風景(1995)



崎山貝塚史跡整備検討委員会による市民談話会(1998)



第16次調査現地説明会(2000)



番号	遺跡名	時期	種別
1	大石遺跡	縄文	散布地
2	長磯遺跡	縄文前期・中期	(未調査)
3	塚場遺跡	縄文後期	(未調査)
4	下在家Ⅰ遺跡	縄文中期・近世	近世屋敷跡
5	白石遺跡	縄文前期～後期	縄文集落跡・貝塚
6	大付遺跡(貝塚)	縄文前期・後期・晩期・弥生	縄文集落跡・貝塚
7	日出島遺跡	縄文中期	(未調査)
8	萩沢Ⅱ遺跡	縄文中期	(時期不明製鉄遺構)
9	萩沢Ⅰ遺跡	縄文	(未調査)
10	潮吹Ⅲ遺跡	縄文中期	(縄文期土坑跡)
11	わたのは遺跡	縄文前期・後期	(未調査)
12	潮吹Ⅰ遺跡	縄文前期	(未調査)
13	潮吹Ⅱ遺跡	縄文前期～後期	(未調査)
14	古里Ⅰ遺跡	縄文前期・中期	(未調査)
15	古里Ⅱ遺跡	縄文	(未調査)

番号	遺跡名	時期	種別
16	古里Ⅲ遺跡	縄文	(未調査)
17	古里Ⅳ遺跡	縄文後期	(未調査)
18	古里Ⅴ遺跡	縄文後期	縄文集落跡
19	大崎山遺跡	縄文後期	(未調査)
20	姉ヶ崎遺跡	縄文	(未調査)
<b>21</b>	<b>崎山貝塚</b>	<b>縄文前期～後期</b>	<b>縄文集落跡・貝塚</b>
22	千束長根遺跡	縄文中期	縄文集落
23	トロノ木Ⅰ遺跡	縄文中期・近世	縄文集落跡・近世屋敷跡
24	トロノ木Ⅱ遺跡	縄文中期	(未調査)
25	トロノ木Ⅲ遺跡	縄文前期・中期	(未調査)
26	トロノ木Ⅳ遺跡	縄文早期・前期	縄文集落跡
27	トロノ木Ⅴ遺跡	縄文中期	縄文集落跡
28	下在家Ⅱ遺跡	時期不明	(時期不明小貝塚)
29	早稻柄Ⅱ遺跡	縄文前期～晩期	縄文集落跡
30	早稻柄Ⅲ遺跡	縄文中期	縄文集落跡

第1図 崎山地区遺跡分布図

を集めることとなり調査指導委員会による現地指導の際には報道機関による取材や報道が成され、毎年の現地説明会には多くの市民が参加した。

こうした中で、既に崎山貝塚を保存する方針を固めていた宮古市は正報告書刊行後の平成8(1997)年2月20日に国指定史跡申請書を文化庁に提出し、同年4月19日の文化財保護審議会による指定答申を経て、同年7月16日に文部省により崎山貝塚を国指定史跡とする旨の官報告示がなされた。

崎山貝塚の史跡指定を受けて、宮古市は史跡整備の準備に着手することとなり、平成8年度には史跡の保存と活用のための方針をまとめた「国指定史跡崎山貝塚保存管理計画」を制定した。この後、平成12(2000)年3月に「崎山貝塚史跡整備基本構想」と、平成20(2008)年3月に「崎山貝塚縄文の森公園第I期整備基本計画」を取りまとめている。

### 3 調査要旨

#### <第IV期内容確認調査>

調査地点 北貝塚中央部(宮古市崎山第2地割52番1)

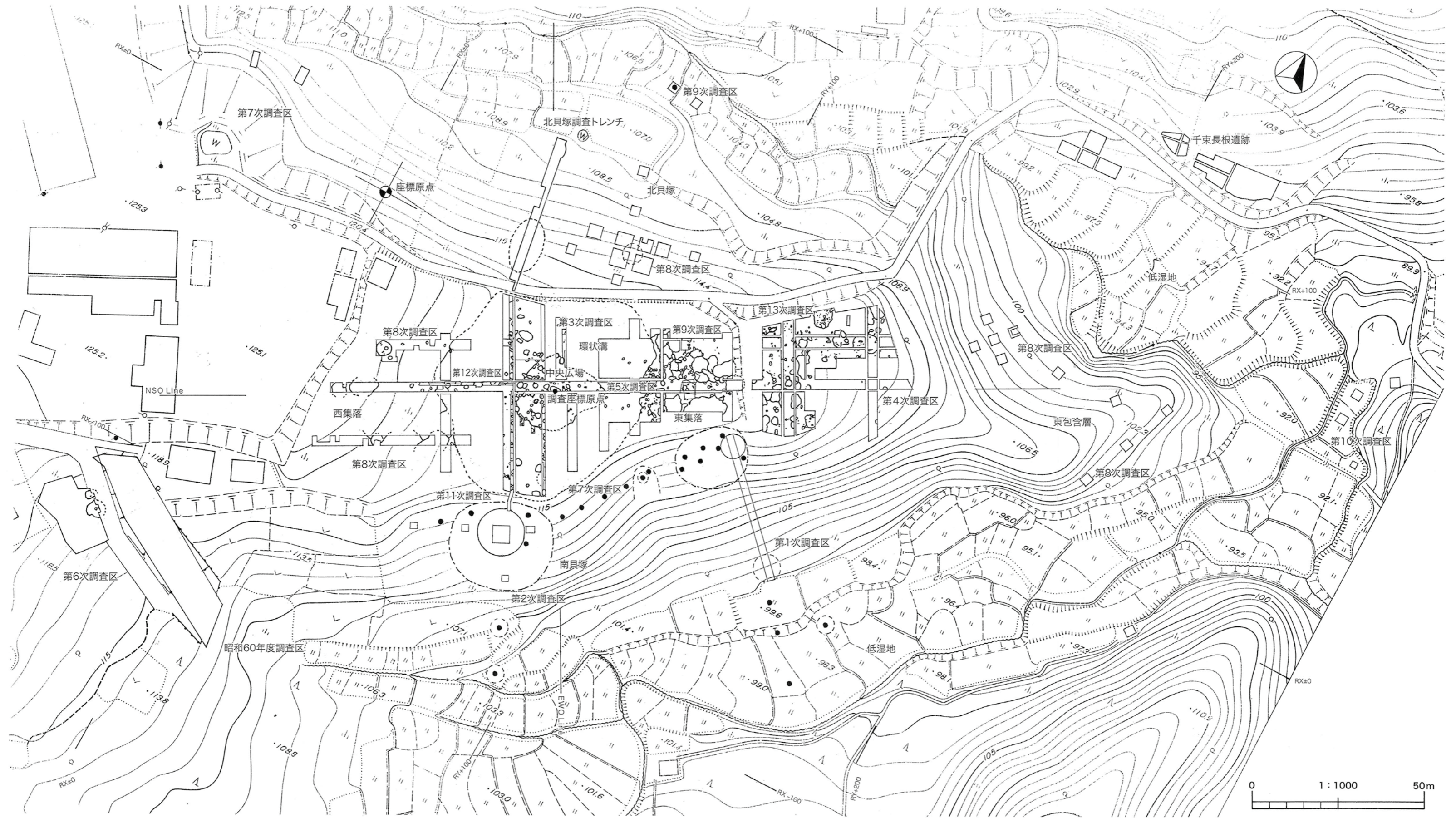
調査目的 北貝塚と集落との関係及び北貝塚における遺物包含層や貝層のあり方を把握することとし、調査データは史跡整備計画に反映させる。

調査方法 北貝塚中央部において、斜面上端から下端にわたり等高線と直交する幅3mのトレンチを設定した上で、トレンチ東側に設定した幅1mのサブトレンチを完掘する。

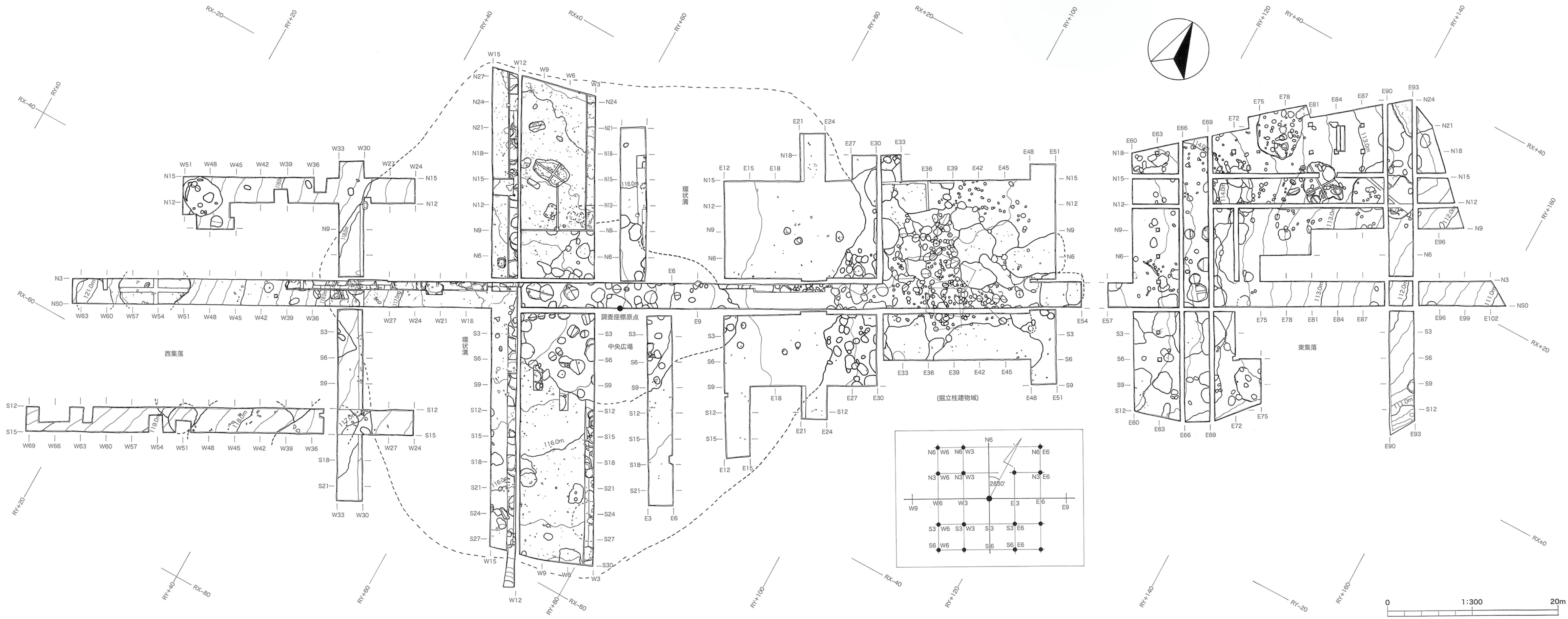
調査面積 トレンチ設定面積 135㎡、完掘面積 45㎡

#### 調査日程

平成10年度・第14次調査	<屋外調査>平成10年6月9日	～平成10年10月20日
	<室内整理>平成10年6月15日	～平成11年3月31日
平成11年度・第15次調査	<屋外調査>平成11年5月10日	～平成11年9月30日
	<室内整理>平成11年5月17日	～平成12年3月31日
平成12年度・第16次調査	<屋外調査>平成12年4月12日	～平成12年12月5日
	<室内整理>平成12年5月8日	～平成13年3月28日
平成13年度・第17次調査	<屋外調査>平成13年5月10日	～平成13年11月22日
	<室内整理>平成13年5月10日	～平成14年3月29日
平成14年度・第18次調査	<屋外調査>平成14年4月10日	～平成14年12月4日
	<室内整理>平成14年5月7日	～平成15年3月31日
平成15年度・第19次調査	<屋外調査>平成15年4月15日	～平成15年12月26日
	<室内整理>平成15年8月4日	～平成16年3月31日
平成16年度・	<室内整理>平成16年4月8日	～平成17年3月31日
平成17年度・	<室内整理>平成17年4月8日	～平成18年3月30日
平成18年度・	<室内整理>平成18年4月10日	～平成19年3月30日
平成19年度・	<室内整理>平成19年4月11日	～平成20年3月31日
平成20年度・	<室内整理>平成20年4月21日	～平成21年3月31日



第2図 崎山貝塚周辺地形図



第3図 崎山貝塚集落跡検出遺構配置図



## 4 調査の体制

第IV期内容確認調査を実施するにあたり、平成9(1997)年度に「崎山貝塚史跡整備検討委員会」を設置し、史跡整備の全般に関する検討や指導を受けているが、同時に専門的な見地に基づく発掘調査の指導もいただいている。尚、平成10年度以降の調査体制を記載するにあたり所属や経歴等は最終時のものとし、敬称は省略させていただいた。

### (1) 崎山貝塚史跡整備検討委員会

委員長	鈴木 公雄	慶応義塾大学名誉教授;平成10年度～平成16年度
委員長	近江 隆	東北大学名誉教授;平成10年度～平成20年度
	(副委員長	平成10年度～平成16年度、委員長 平成16年度～平成20年度)
副委員長	西本 豊弘	国立歴史民俗博物館教授(考古学);平成10年度～平成20年度
副委員長	熊谷 常正	盛岡大学文学部教授(考古学);平成10年度～平成20年度
	(副委員長	平成16年度～平成20年度)
委員	武井 則道	(財)横浜市ふるさと歴史財団;平成10年度～平成20年度
委員	工藤 竹久	八戸市教育委員会文化課長;平成10年度～平成20年度
委員	崎山 光朔	宮古市文化財保護審議会会長;平成10年度～平成12年度
委員	坂口 忠	宮古市文化財保護審議会会長;平成12年度～平成14年度
委員	澤内 建志	宮古市文化財保護審議会会長;平成14年度～平成19年度
委員	梶山 亨治郎	宮古市文化財保護審議会会長;平成19年度～平成20年度
委員	大久保和歌子	宮古子ども劇場運営委員長;平成10年度～平成14年度
委員	南館 孝子	季刊ゆうとぴあ編集室長;平成10年度～平成20年度
委員	佐々木 重勝	崎山地区行政連絡協議会会長;平成20年度
委員	畠山 初男	崎山1区・2区自治会会長;平成20年度
委員	北村 嘉男	崎山公民館館長;平成20年度
委員	菊地 恵子	崎山小学校校長;平成20年度
委員	石宇 修一	崎山中学校校長;平成20年度

### (2) 事務局体制

第IV期内容確認調査における発掘調査・室内整理・報告書刊行にかかる事務局体制は次のとおりである。

調査主体 宮古市教育委員会

教育長 中屋 定基(平成10年度～平成20年度)

教育次長 鼻崎 正亀(平成10年度～平成12年度)

白根 進(平成13年度～平成14年度)

教育部長 浦野 光廣(平成15年度～平成16年度)

佐々木健彦(平成17年度)

沼崎 幸夫(平成18年度～平成20年度)

- 調査総括 宮古市教育委員会社会教育課・生涯学習課・文化課課長  
 中洞 惣一 (社会教育課長;平成10年度)  
 沼崎 幸夫 (社会教育課長;平成11年度～平成12年度)  
 伊藤 賢一 (社会教育課長・生涯学習課長;平成13年度～平成15年度)  
 佐々木 剛 (生涯学習課長;平成16年度～平成17年度)  
 関沢 敏 (文化課長;平成17年度～平成18年度)  
 元田 秀一 (文化課長;平成19年度～平成20年度)  
 社会教育課主幹  
 岸 昌一 (平成10年度～平成11年度)
- 調査事務 社会教育課長補佐兼文化係長  
 瀬川 康平 (平成10年度～平成13年度)・小本完 (平成14年度)  
 生涯学習課・文化課課長補佐兼文化係長  
 佐藤慎一郎 (平成15年度～平成17年度)  
 文化課課長補佐兼文化係長  
 箱石 憲一 (平成17年度～平成18年度)  
 文化課文化財係長・文化財担当長  
 竹下 将男 (平成17年度～平成20年度、平成10年度～平成16年度は主任文化財調査員ほか)
- 調査員 高橋憲太郎 (主査ほか;平成10年度～平成20年度)  
 鎌田 祐二 (主査ほか;平成10年度～平成20年度)  
 布谷 義彦 (主任文化財調査員;平成20年度)  
 加納 由美 (主任文化財調査員ほか;平成10年度～平成20年度)  
 安原 誠 (主任文化財調査員ほか;平成11年度～平成20年度)  
 長谷川 真 (主任文化財調査員ほか;平成14年度～平成20年度)  
 阿部 豊 (埋蔵文化財調査員;平成10年度～平成20年度)  
 工藤 剛司 (埋蔵文化財調査員;平成10年度～平成11年度)  
 江口 邦泰 (埋蔵文化財調査員;平成13年度～平成20年度)
- 発掘調査作業員 (発掘調査・室内整理)  
 前川友宏・伊藤晴男・北村忠治・佐々木茂実・工藤イネ・中居勝二・佐々木拓・駒井聡・山崎健・久保田和雄・中居磯雄・堀子勝男・中嶋正裕・福土祐二・中村紘一・佐藤晴美・崎尾由美子・佐々木純子・澤田悦子・山根久枝・古舘勝子・佐々木ヨシ子・舘崎禮子・北村弓子・佐々木エリ子・伊藤洋子・金子アイ子・小田由美子・澤幸・鈴木恵美子・三浦功・舘洞美穂子・岩間ゆかり・鈴木千明・小池由利子・山崎由紀子

### (3) 指導者・協力者

発掘調査・室内整理および本書の執筆に関しては、次の方々や機関からご指導・ご協力を賜った。ここに記して謝意を申し上げたい (敬称略、所属は当時のもののみを記載した)。  
 文化庁・岩手県教育委員会・東北大学文学部・(財)北海道埋蔵文化財センター・青森県教育庁三内丸山対策室・宮城県立東北歴史博物館・(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター・岩手県立水

産科学館・白老町教育委員会・伊達市噴火湾文化研究所・虻田町（現洞爺湖町）教育委員会・八雲町教育委員会・市立函館博物館・函館市教育委員会・八戸市立博物館・是川遺跡縄文学習館・一戸町教育委員会・盛岡市遺跡の学び館・大船渡市立博物館・陸前高田市立博物館・東松島市奥松島縄文村歴史資料館・角田市教育委員会

岡村道雄・本中真・岡田博康・平澤毅・白崎恵介・市原富士夫（文化庁記念物課）、高橋信雄・小田野哲憲・中村英俊・斎藤邦雄・日下和寿・菅常久（岩手県教育委員会）、藤沼邦彦・関根達人（弘前大学）、須藤隆・菅野智則（東北大学）、吉田邦夫・丑野毅・安齐正人・高橋健（東京大学）、渡辺誠・新美倫子（名古屋大学）、福井淳一（（財）北海道埋蔵文化財センター）、武永真（白老町教育委員会）大島直行・青野友哉（伊達市噴火湾文化研究所）、角田隆（虻田町（現洞爺湖町）教育委員会）、三浦孝一（八雲町教育委員会）、佐藤智雄（市立函館博物館）、川口潤（青森県教育庁三内丸山対策室）、斉藤慶吏（青森県埋蔵文化財調査センター）小林和彦（是川遺跡縄文学習館）、桐生正一・井上雅孝（滝沢村教育委員会）、八木光則・神原雄一郎（盛岡市教育委員会）、田鎖康之（岩泉町教育委員会）、安達尊伸・中村直（田野畑村教育委員会）、川向聖子（山田町教育委員会）、鎌田精造（大槌町教育委員会）、手塚新太・森一欽（釜石市教育委員会）、金野良一・千葉貴子・氷見淳哉（大船渡市立博物館）、佐藤正彦・熊谷賢・遠野いずみ・佐々木洋（陸前高田市立博物館）、山田晃弘・手塚均（宮城県立東北歴史博物館）、菅原弘樹（東松島市奥松島縄文村歴史資料館）、忍澤成視（市原市教育委員会）

## II 北貝塚の内容確認調査について

### 1 調査の目的と調査区の設定について

北貝塚においては第5次調査（平成2年）・第7次調査（平成3年）・第8次調査（平成4年）にて範囲確認調査を実施済みであり、これらの調査により第8次調査区内に直径10m程度の貝層を確認している。また、この貝塚をとりまいて斜面部全体に縄文時代中期を中心とする遺物包含層が形成されていることも確認している。

しかし、これらの範囲確認調査は遺構や遺物等の分布状況把握を目的とするものであったため、貝層や遺物包含層の精査を全く実施していない。従って、北貝塚の形成時期・層厚・遺物の包含状態等の基本的な状況把握は全く成されておらず、史跡指定後の整備計画立案に向けて有効な情報を提供することができなかった。

そこで、北貝塚の詳細な状況を把握するために「崎山貝塚調査指導委員会」の指導に基づき平成7年度に実施した第12次内容確認調査において、トレンチ調査により内容確認調査を実施することとした。

調査トレンチは北貝塚の主体部分から離れた第5次調査地点を選定し、第5次調査区を延長し斜面と直交する幅3mのトレンチを設定した上で、斜面上端から3m四方のグリッド割を行ない、それぞれNo. 0グリッド～No.15グリッドと命名した。

また、包含層等の精査に対応するためにトレンチの東側に幅1mのサブトレンチを設定した。

更に、調査終了後は北貝塚のサブトレンチと併せて、集落部のW12ラインのサブトレンチ・南貝塚調査区（第2次）をつなぐことにより遺跡全体の横断面把握を行えることになり、崎山貝塚の内

容把握に対して有効な情報提供が可能となることが想定された。

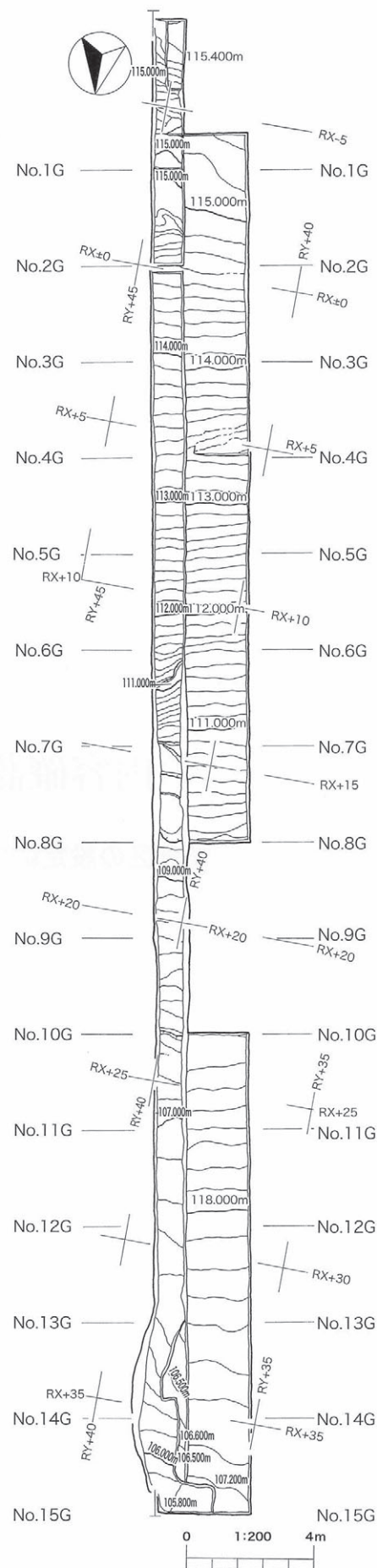
## 2 発掘調査の経過

北貝塚の内容確認調査については、平成7年度の第12次調査にて斜面上端部 (No. 0～No. 1グリッドの一部)、斜面中央部 (No. 8グリッド)、斜面下端部 (No.10～No.15グリッド)にてサブトレンチ内の精査を行なっている。斜面上端部にては調査着手後間もなく貝層等を検出したためこの時点で調査を打ち切った。斜面中部と斜面下端部については、貝層等が検出されなかったため基底部までの精査を実施した。

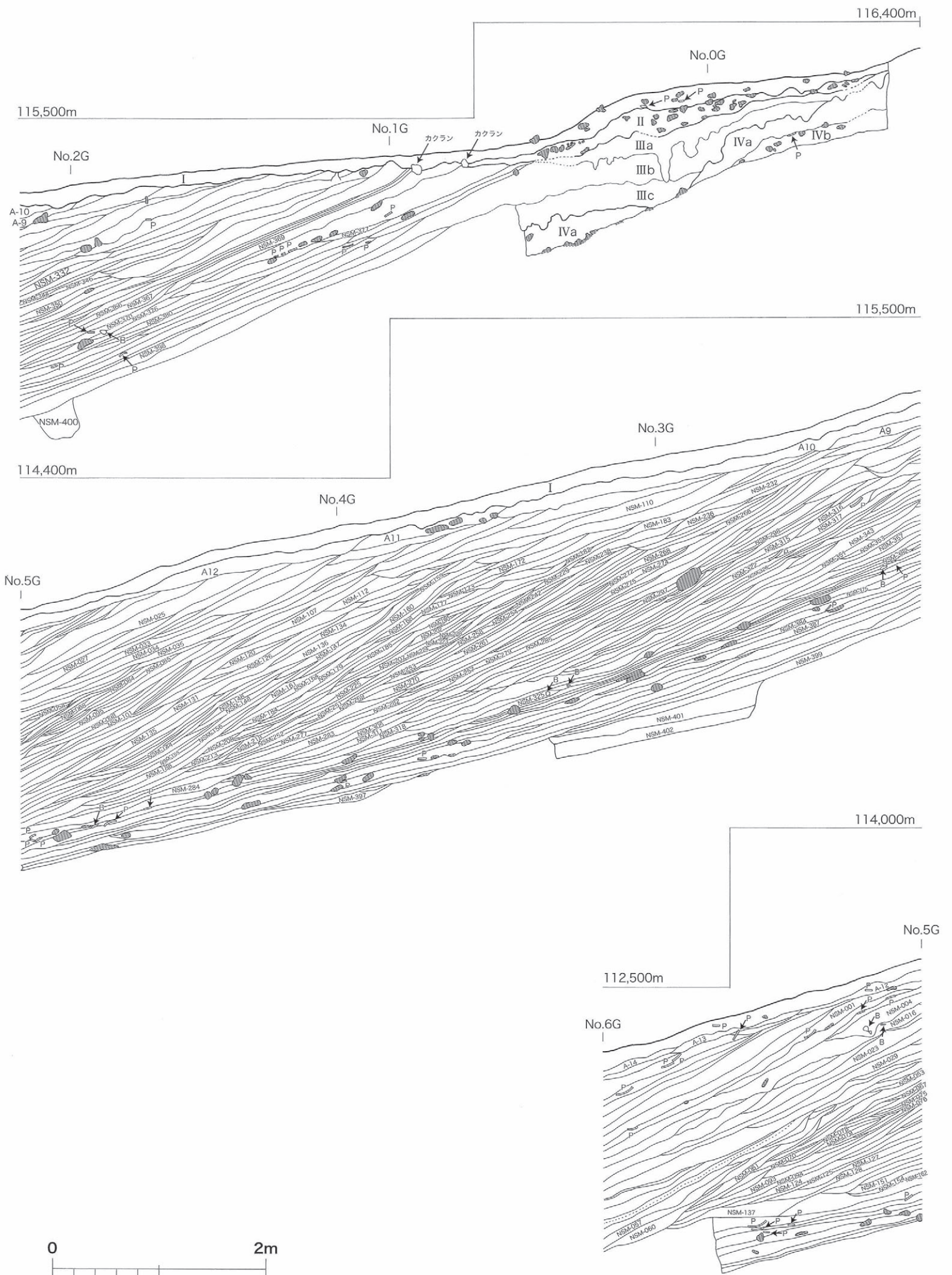
第12次調査の結果、斜面中央部を中心に縄文時代後期・中期・前期の遺物包含層が形成されていることを確認し、土器・石器を主体とする多量の遺物を検出した。尚、斜面下端部については遺物包含層から低湿地へ移行する様相が確認されるとともに、十和田火山を給源とし縄文前期に降下したとされる中振火山灰 (To-CU) の良好な堆積状況を確認できた。

このような事前調査の経過を踏まえ、第IV期内容確認調査は北貝塚調査トレンチの完掘を目的として実施したものである。平成10年度の第14次調査では第12次調査にて掘り残したNo. 9～No.10グリッドの精査を実施するとともに、No. 6～No. 7グリッドの精査にも着手したが、これらの調査は通常の遺物包含層の調査方法にて行っている。

平成11年度の第15次調査においてはNo. 6グリッドより上部に破碎された貝殻・魚骨・獣骨などの動物遺存体が広く分布し骨角器を含むことが確認された。この地点に本格的な貝塚の存在が想定されたことにより調査方法を悉皆調査に切り替え、各堆積層の状況等を記録しながら土壌を全て採集することとした。このため、貝層の精査は平成15年度の第19次調査までの5ヶ年を費やすことになり、精査した堆積層の総数は400層以上にも



第4図 北貝塚調査トレンチ平面図



第5図 北貝塚第15次～第19次調査区断面図

及んだ。

また、整理室に運び込んだ土量も膨大のもので、総重量約27.9 t、総体積約27.2klにも及んだ。このため、土壌の水洗選別が全て終了したのは平成16年度で、骨角器等の選別・実測・トレースが終了したのは平成20年度であった。

尚、本概報は整理作業の終了した骨角器についてのみ記載するものであるが、今後は他の遺物類についても計画的に概報を作成する予定である。

### 3 基本層序

北貝塚調査トレンチ内の基本層序については、既に平成10年度の調査概報に記載してあるが、本概報に関係するNo. 0～No. 6 グリッドについて今回の調査所見を加えて再度記載する。

I層 トレンチ全体を覆う暗褐色表土層。

II層 トレンチ全体を覆うやや暗い暗褐色旧表土層。

III層 斜面下半部にのみ堆積する黒褐色土層。

A層 斜面中央部にのみ堆積する黒褐色土層。縄文後期の遺物包含層であり層厚はあまり厚くない。

B層 斜面中央部を中心に堆積し、暗褐色土層を中心とする。縄文中期の遺物包含層で極めて層厚があり最深部では1 m程となる。B層下半部の土層中に貝層等が狭在する形で貝塚が形成されているが、特にNo. 6 グリッドより上位では土層より貝層等が優先する。

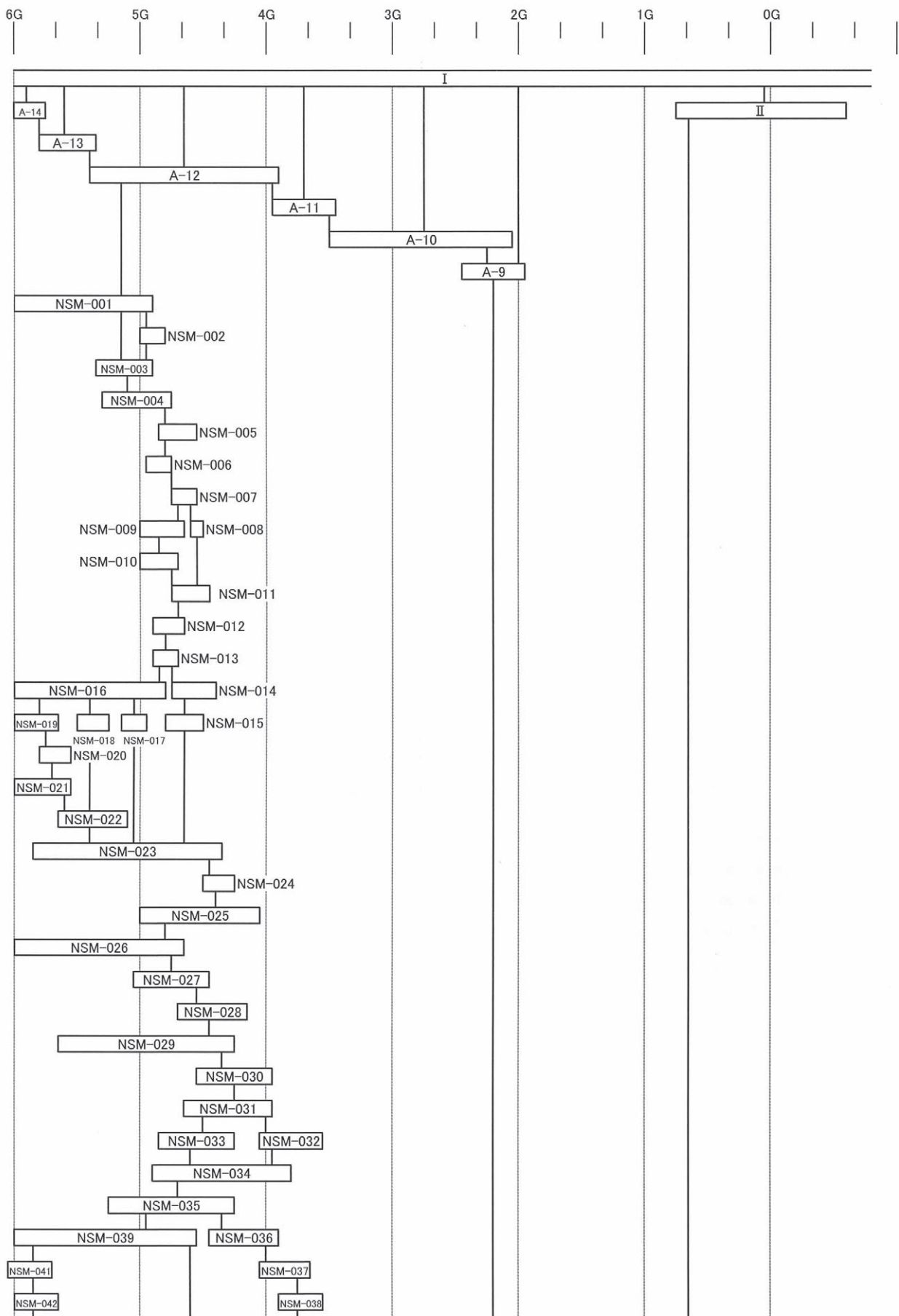
C層 斜面上半部を中心に堆積する縄文前期の遺物包含層で、B層同様に発達するが、斜面下半部では著しく層厚を減ずる。No. 7 グリッドより下位については土層が優先するが、No. 6 グリッドより上位については貝層・魚骨層・ウニ層等が主体となる貝塚が形成されている。

また、本層の下層部にはほぼ連続して中振火山灰 (TO-Cu) が堆積する状態が確認された。

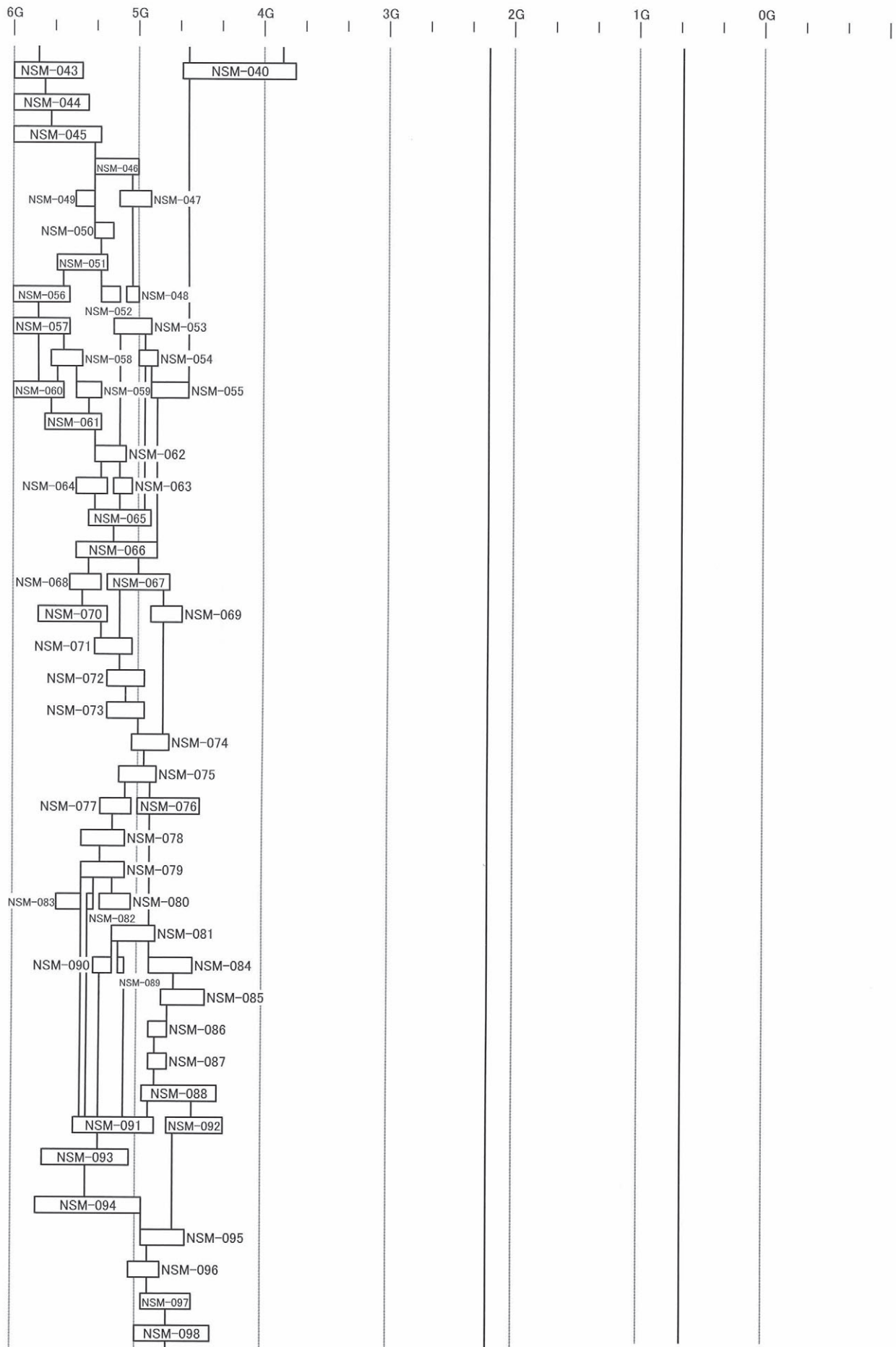
X I層 粘土質の褐色土層を主体とする無遺物層であるが、C層の最下部から漸移的に推移するため両者の境界は不明瞭である。更新世に降下した火山灰を起源とするようで火山ガラスや炭化物粒を少量含む。

X II層 黄褐色粘土質土層で、X I層に類似するがより明るくやや硬い。また、層中に多くの礫を含むことから基盤に移行することが想定される。

尚、本トレンチ内に検出した貝層等については第12次・第14次調査にて調査済みの土層と区別するため、層名にNSMを冠した。本書では全体の整理作業が未了であるため各堆積層の詳述を避けるが、貝塚分部の概要は一覧表と概念図にて示した。これらは概ね基本層序のC層及びB層の一部に相当する。

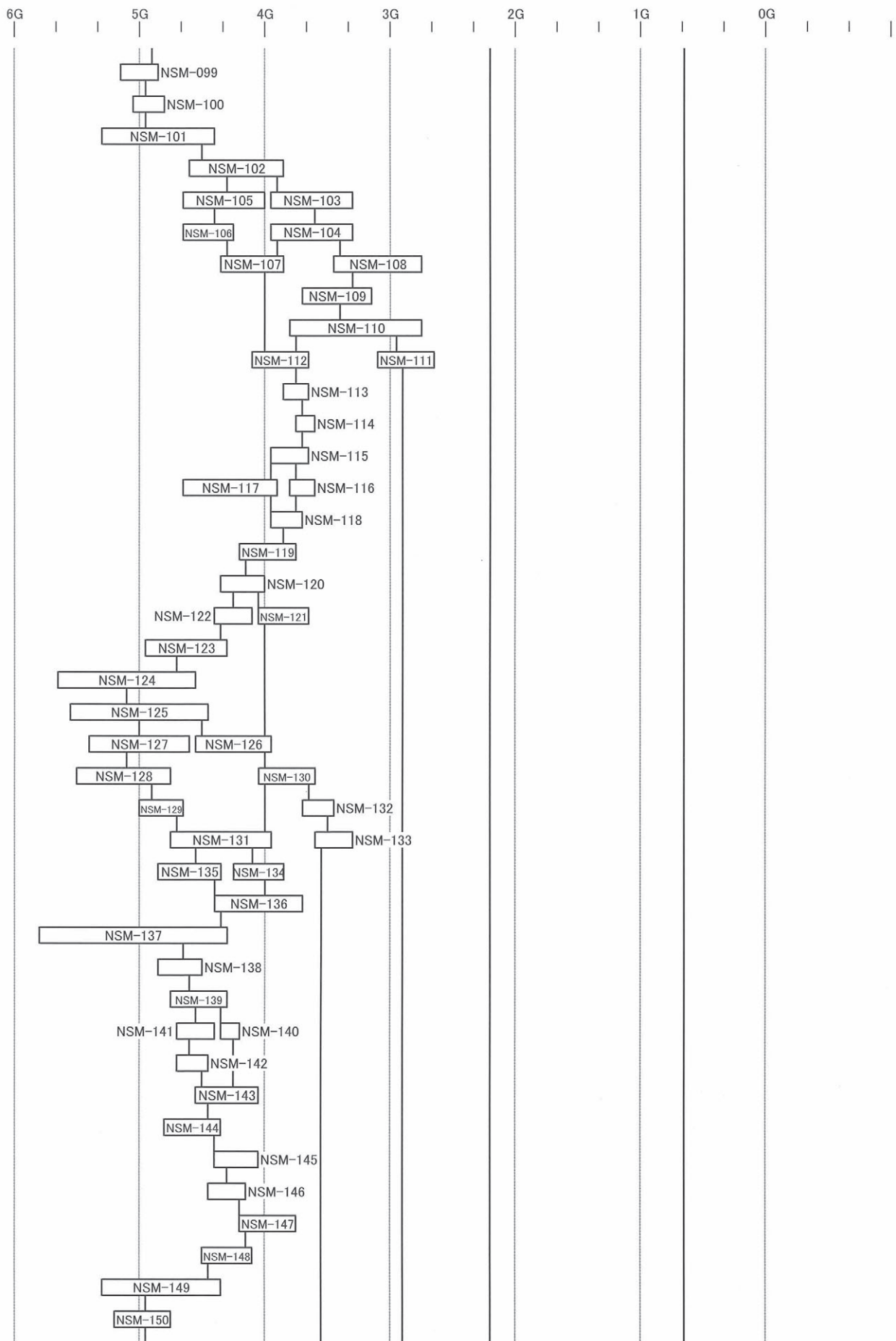


第6図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(1)

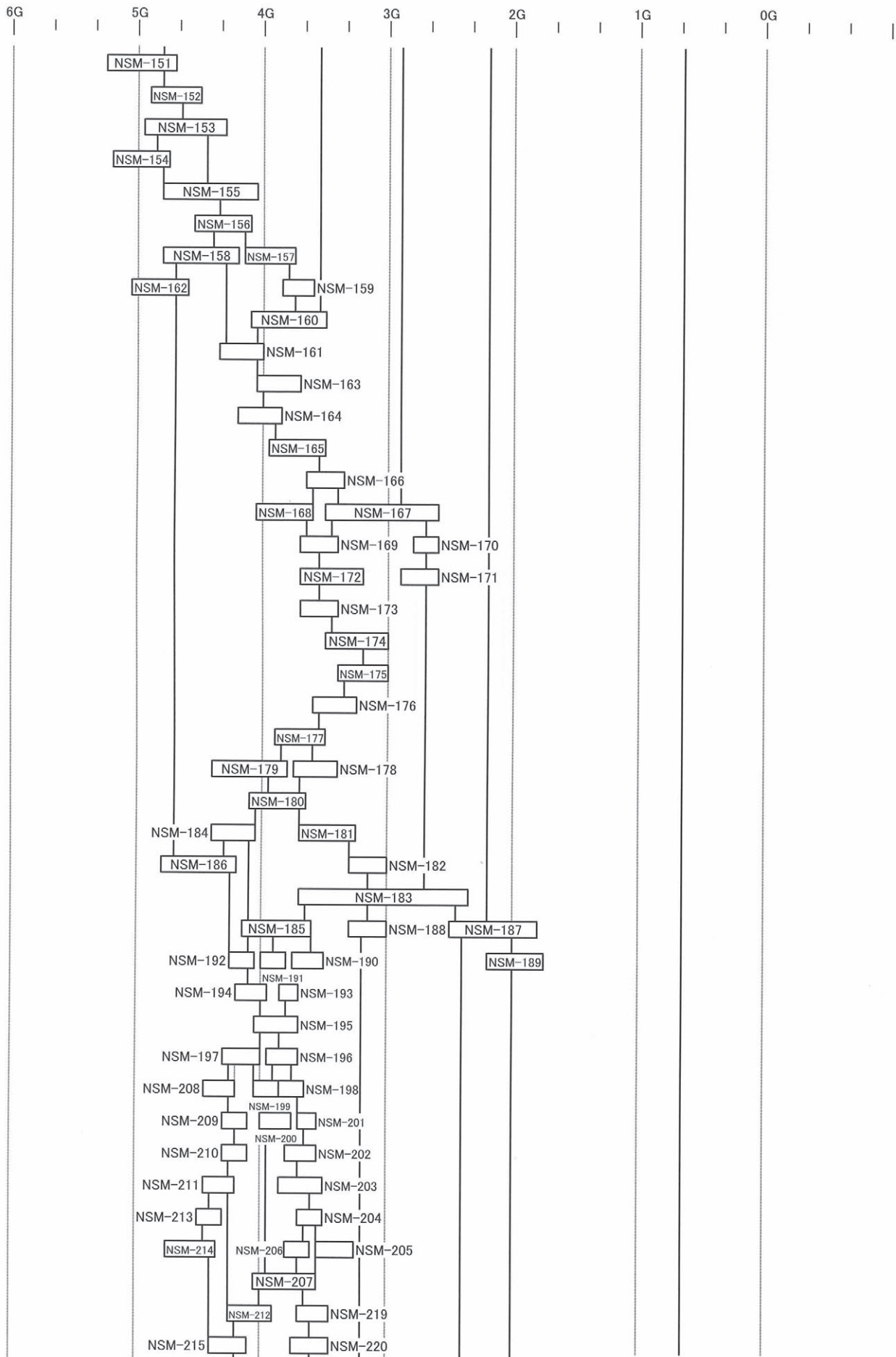


第7図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(2)

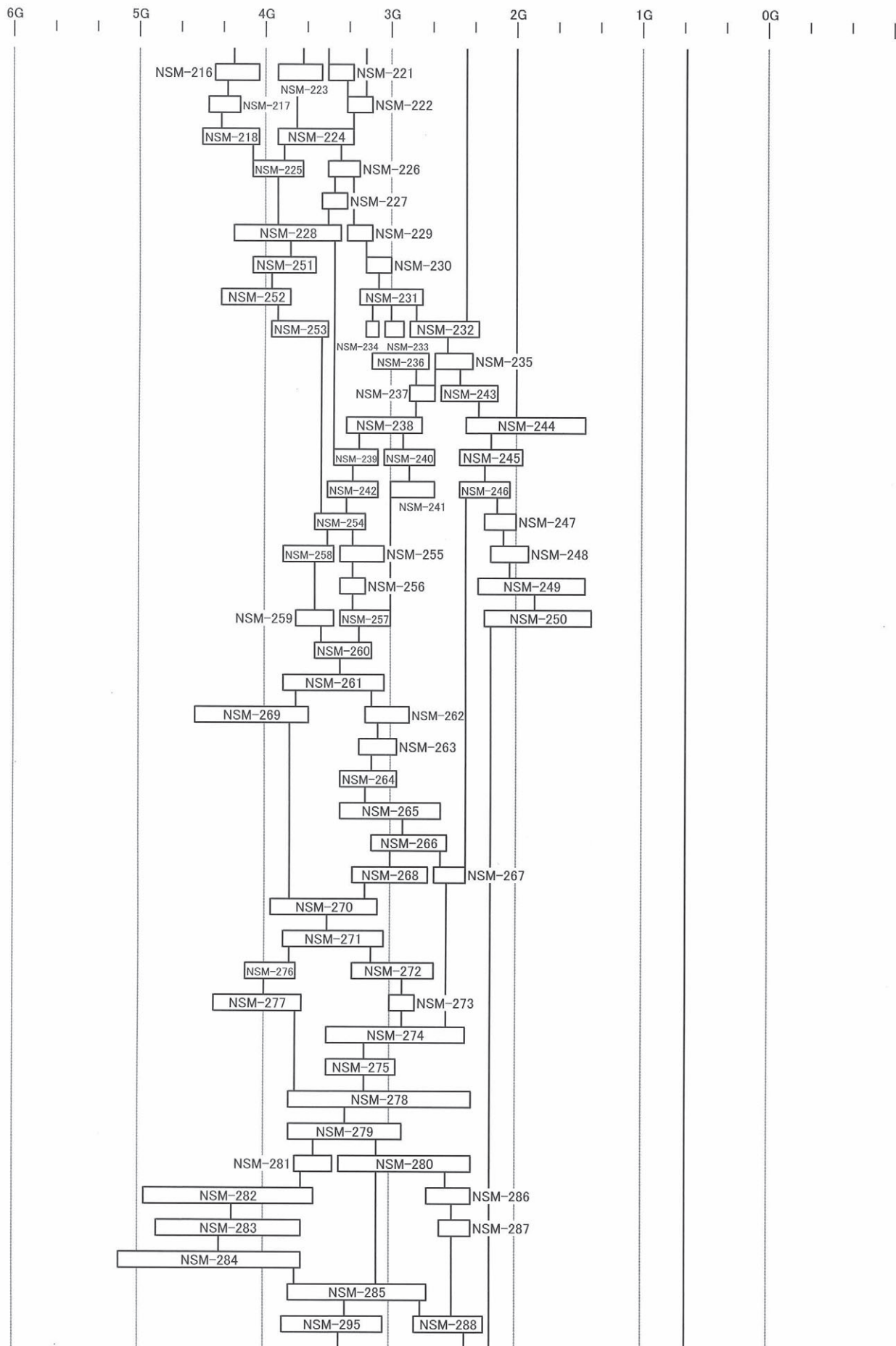




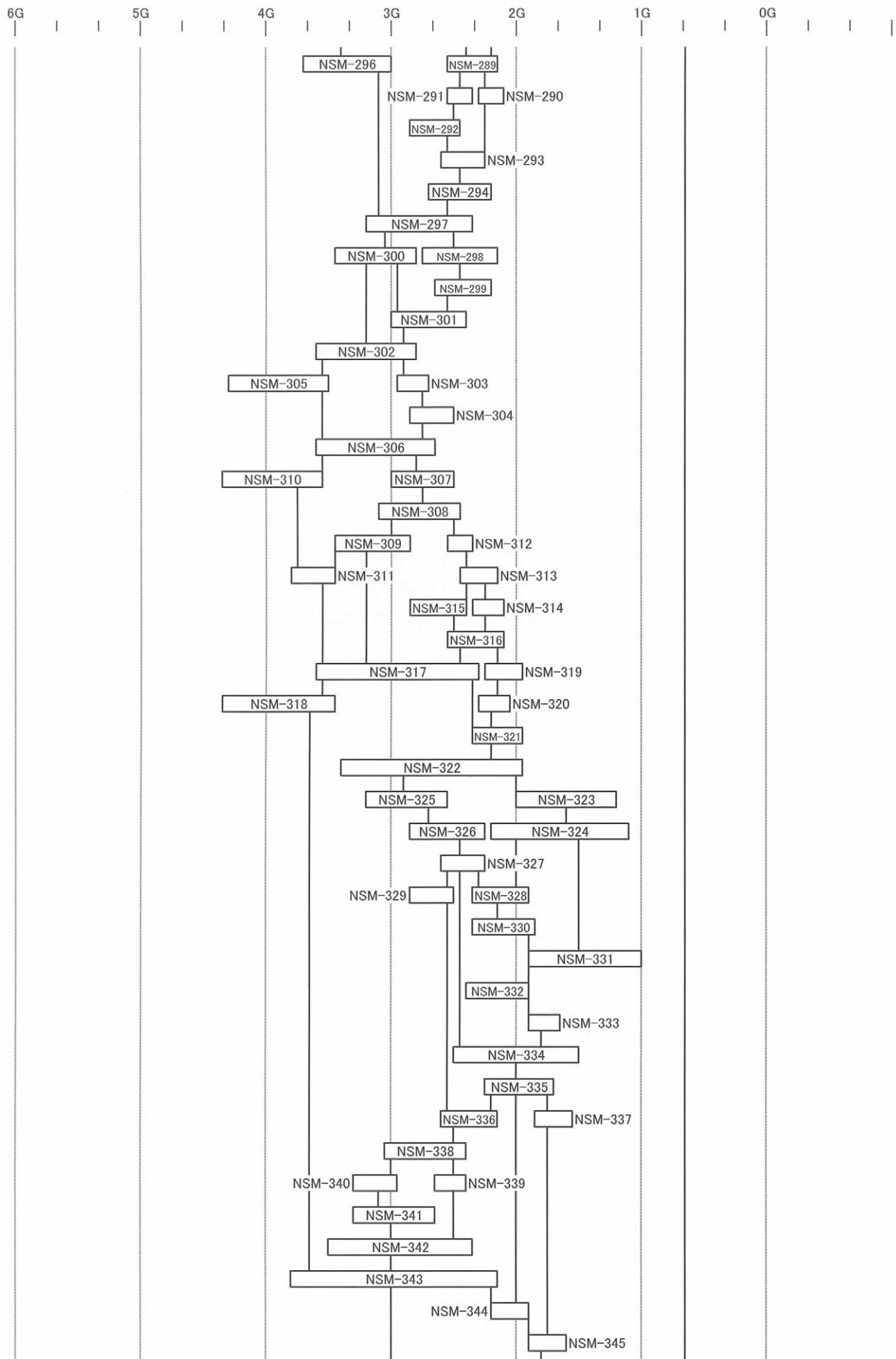
第8図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(3)



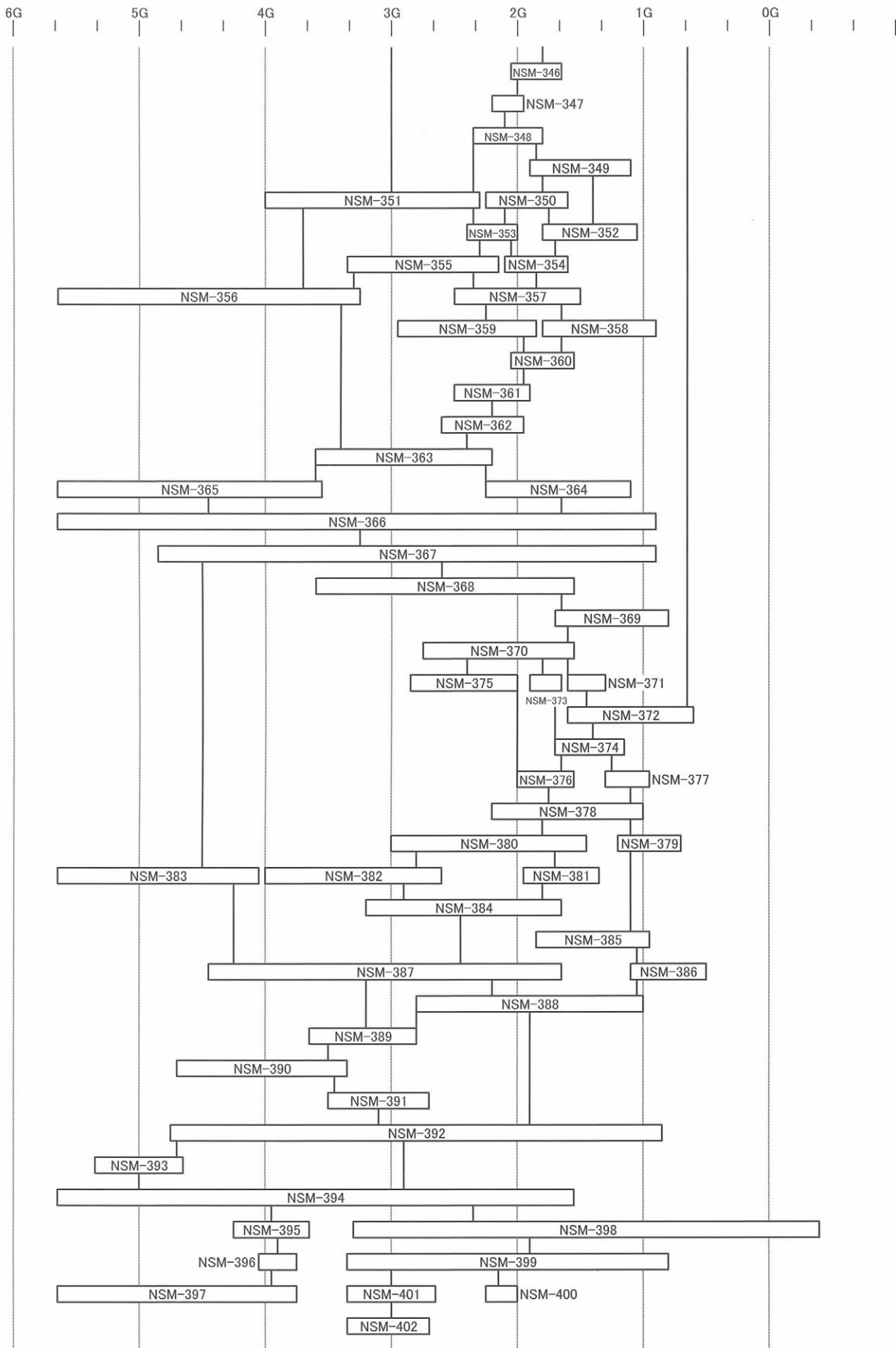
第9図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(4)



第10図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(5)



第11図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(6)



第12図 北貝塚第15次～第19次調査層序概念図(7)

層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-001	15-001 14-4Jに相当	炭混じり暗褐色土層	5~6		1999.5.17		
NSM-002	15-002	やや明るい暗褐色土層	5		1999.5.17		
NSM-003	15-003 14-4Lに相当	保存状態の悪い魚骨層(暗)	5~6		1999.5.18		
NSM-004	15-004 14-4Mに相当	やや明るい暗褐色土層	5~6		1999.5.19		
NSM-005	15-005	チヂミボラ主体の貝ブロック	5		1999.5.20		
NSM-006	15-006	マグロ・カツオ等主体の魚骨層	5		1999.5.20		
NSM-007	15-007	イガイ主体の混貝土層	5		1999.5.21		
NSM-008	15-010	炭混じり暗褐色土層	5		1999.5.21		
NSM-009	15-008	やや明るい魚骨層	5		1999.5.21		
NSM-010	15-009	炭混じり暗褐色土層	5		1999.5.21		
NSM-011	15-011	イガイ主体の破砕貝層	5	縄文中期中葉~前葉	1999.5.24		
NSM-012	15-012	炭混じり魚骨層	5		1999.5.24		
NSM-013	15-013	イガイ主体の破砕貝層	5	縄文中期前葉	1999.5.26		
NSM-014	15-014	イガイ主体の混貝土層	5	縄文中期前葉	1999.5.26		
NSM-015	15-017	炭混じり混貝土層	5		1999.5.28		
NSM-016	15-015 14-4Nに相当	炭混じり混貝土層	5~6		1999.5.26		
NSM-017	15-016	やや明るい混貝土層	5~6		1999.5.28		
NSM-018	15-018	やや明るい骨混じり暗褐色土層	6	縄文中期前葉	1999.5.28		
NSM-019	15-019 14-5Aに相当	やや明るい暗褐色土層	6		1999.5.31		
NSM-020	15-020	骨・炭混じり暗褐色土層	6	縄文中期前葉	1999.6.1		
NSM-021	15-021 14-5Bに相当	やや明るい暗褐色土層	6		1999.6.2		
NSM-022	15-022	骨・炭混じり暗褐色土層	6		1999.6.4		
NSM-023	15-023	やや明るい混貝土層	5~6		1999/6/8・ 1999/6/9	069・135	
NSM-024	15-024	やや暗い骨混じり暗褐色土層	5		1999.6.11		
NSM-025	15-025	やや明るい混貝土層	5		1999.6.11	026・154	
NSM-026	15-026 14-5Dに相当	骨混じり暗褐色土層	5~6	縄文中期前葉	1999.6.15		
NSM-027	15-027	イガイ主体の混貝土層	5~6		1999.6.16	017	
NSM-028	15-028	骨混じり暗褐色土層	5		1999.6.18		
NSM-029	15-029	やや明るい骨混じり暗褐色土層	5~6		1999.6.21	009	
NSM-030	15-030	やや暗い灰混じり骨混じり暗褐色土層	4~5		1999.6.21		
NSM-031	15-031A	やや暗い混貝土層	4~5		1999.6.22		
NSM-032	15-032	やや明るい骨混じり暗褐色土層	4~5	縄文中期前葉	1999.6.25		
NSM-033	15-031B	やや明るい混貝土層	5		1999.6.22	168	
NSM-034	15-033	やや明るい骨混じり混貝土層	4~5		1999.6.28	134・139	
NSM-035	15-034	やや暗い骨混じり炭混じり暗褐色土層	5~6	縄文中期前葉	1999.7.1	008	
NSM-036	15-035	地山ブロック層	4~5		1999.7.2		
NSM-037	15-036	地山ブロック層	4~5		1999.7.2		
NSM-038	15-050	炭混じり暗褐色土層	4		1999.7.22		
NSM-039	15-037 14-5Fに相当	暗褐色土層	5~6		1999.7.5		
NSM-040	15-051	混貝土層	4~5	縄文中期前葉	1999.7.23		破砕貝主体
NSM-041	15-038	マサブロック層	6		1999.7.6		
NSM-042	15-039 14-5G上層に相当	褐色土層	6		1999.7.6		炭少
NSM-043	15-040 14-5G下層に相当	やや暗い褐色土層	6		1999.7.6		
NSM-044	15-041 14-5H上層に相当	やや明るい暗褐色土層	6		1999.7.8		炭少
NSM-045	15-042 14-5H下層に相当	焼土混じり暗褐色土層	6		1999.7.8		
NSM-046	15-043	焼土混じり暗褐色土層	5		1999.7.8		
NSM-047	15-053	地山ブロック層	5~6		1999.7.23		ウニ多
NSM-048	15-055	やや暗い炭混じり暗褐色土層	5		1999.7.26		
NSM-049	15-044	締まりのない炭の層	6		1999.7.9		
NSM-050	15-045	やや暗い混貝土層	6		1999.7.9		
NSM-051	15-046	灰混じり暗褐色土層	6		1999.7.21		
NSM-052	15-054	やや明るい暗褐色土層	6		1999.7.23		
NSM-053	15-056	やや明るい暗褐色土層	5~6		1999.7.26	061・137・172	
NSM-054	15-061	褐色土層	5		1999.8.9	126	
NSM-055	15-062	やや暗い暗褐色土層	5		1999.8.9		一部魚骨集中
NSM-056	15-047 14-5Iに相当	やや明るい暗褐色土層	6	縄文中期前葉	1999.7.21		
NSM-057	15-048 15-6Aに相当	カツオを主体とする炭混じり魚骨層	6		1999.7.22	147	
NSM-058	15-049	やや明るい骨混じり暗褐色土層	6		1999.7.22		
NSM-059	15-052	やや明るい暗褐色土層	6	縄文中期前葉	1999.7.23		
NSM-060	15-057 15-6Bに相当	やや暗い骨混じり暗褐色土層	6		1999.7.27	034	
NSM-061	15-058	骨混じり暗褐色土層	6		1999.8.6	106	
NSM-062	15-059	骨混じり暗褐色土層	6		1999.8.6		
NSM-063	15-060	灰ブロック層	6		1999.8.9		
NSM-064	15-063	灰混じり暗褐色土層	6		1999.8.10		
NSM-065	15-064	上部ウニ層	5~6		1999.8.10		
NSM-066	15-064B	やや明るいウニ混じり暗褐色土層	5~6		1999.8.10		
NSM-067	15-067	やや明るい灰混じり暗褐色土層	5~6		1999.8.11	053	
NSM-068	15-065	ウニ混じり暗褐色土層	6		1999.8.11		
NSM-069	15-071	魚骨層	5		1999.8.20	146(上半)	

第1表 北貝塚第15次~第19次調査層序一覧表(1)

層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-070	15-066	下部ウニ層	6	縄文中期前葉	1999.8.11	086	
NSM-071	15-068	炭混じり灰層	6		1999.8.19		
NSM-072	15-069	灰層	5～6		1999.8.20		
NSM-073	15-070	灰+ウニ層	5～6		1999.8.20		
NSM-074	15-072	ウニ層	5～6		1999.8.23		
NSM-075	15-073	ウニ混じり暗褐色土層	5～6		1999.8.23	114・146(下半)	
NSM-076	15-074	炭混じり暗褐色土層	5		1999.9.13	131	
NSM-077	15-075	黄色土混じり暗褐色土層	6		1999.9.13		
NSM-078	15-076	やや暗い炭混じり暗褐色土層	6		1999.9.13	175	
NSM-079	15-077	ウニ混じり暗褐色土層	6		1999.9.13	130・140	
NSM-080	15-078	ウニ混じり暗褐色土層	6		1999.9.14		
NSM-081	15-079	ウニ混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.14		
NSM-082	15-086	灰ブロック層	6		1999.9.17		
NSM-083	15-088A	ウニ層	6		1999.9.17		
NSM-084	15-080	黄色土・焼土混じり暗褐色土層	5		1999.9.14	110	
NSM-085	15-081	黄色土・炭・焼土混じり暗褐色土層	5		1999.9.14	092	
NSM-086	15-082	焼土混じり暗褐色土層	5		1999.9.16		
NSM-087	15-083	焼土を含むウニ混じり暗褐色土層	5		1999.9.16		
NSM-088	15-084	純灰層	5		1999.9.16		
NSM-089	15-087	灰ブロック	6		1999.9.17		
NSM-090	15-085	灰ブロック	6		1999.9.17		
NSM-091	15-088B	灰を含むウニ混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.17		
NSM-092	15-091	灰混じり暗褐色土層	5	縄文中期前葉	1999.9.24		
NSM-093	15-089	魚骨混じり暗褐色土層	6	縄文中期前葉	1999.9.20	128・162	
NSM-094	15-090	骨混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.20	090	
NSM-095	15-092	骨混じり暗褐色土層	5		1999.9.24	143	マグロなどが主体
NSM-096	15-093	やや暗い骨混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.28		
NSM-097	15-094	灰混じり暗褐色土層	5		1999.9.28		
NSM-098	15-095	ウニ混じり灰混じり暗褐色土層	5		1999.9.30	045	
NSM-099	15-096	黄褐色土混じりマグロ混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.30		
NSM-100	15-097	灰混じり暗褐色土層	5～6		1999.9.30		
NSM-101	15-098	マグロ主体の魚骨層	5～6	縄文前期後葉	1999.9.30	121・(182)	
NSM-102	15-099	やや暗い貝混じり暗褐色土層	4～5		1999.10.1		
NSM-103	15-099B	やや明るい炭混じり暗褐色土層	4		1999.10.5		骨なし
NSM-104	15-099C	やや暗い炭混じり暗褐色土層	4		1999.10.5		骨なし
NSM-105	15-100	魚骨層～魚骨混じり暗褐色土層	4～5		1999.10.1		
NSM-106	15-101	魚骨混じり灰層	5		1999.10.4		
NSM-107	15-101B	やや暗い暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	1999.10.5	123	上部で貝混じり
NSM-108	15-099D 15-C01を含む	やや明るい暗褐色土層	3～4	縄文前期後葉	1999.10.6		部分的に締まり無し
NSM-109	15-099E	褐色土層	4		1999.10.6		混入土多
NSM-110	15-099F 15-C02を含む	やや暗い暗褐色土層	3～4		1999.10.8	071	部分的に固い箇所有り
NSM-111	16-150 15-C03を含む	地山ブロック混じり褐色土層	3～4		2000.6.27		一部炭混じり暗褐色土を含む
NSM-112	15-101C	貝混じり暗褐色土層	4～5		1999.10.7	044	
NSM-113	15-101D	褐色土ブロック	4		1999.10.9		
NSM-114	15-101E	灰混じり暗褐色土ブロック	4		1999.10.12		
NSM-115	15-101F	魚骨混じり暗褐色土層	4		1999.10.12		
NSM-116	15-101G	炭混じり暗褐色土層	4		1999.10.18		
NSM-117	15-102	白い灰層	4～5		1999.10.14		
NSM-118	15-103	魚骨混じり暗褐色土層	4		1999.10.15		
NSM-119	16-104	炭混じり暗褐色土層	4～5		2000.5.16		
NSM-120	16-105	やや明るい魚骨混じりブロック	5		2000.5.16	033	
NSM-121	16-113	灰ブロック	4～5		2000.5.26		
NSM-122	16-106	やや明るい魚骨混じりブロック	5		2000.5.22		
NSM-123	16-107	やや暗い貝混じり暗褐色土層	5		2000.5.22		
NSM-124	16-108	貝混じり暗褐色土層	5～6	縄文前期後葉	2000.5.23	149	
NSM-125	16-109	灰混じり混貝土層	5～6		2000.5.23	173	
NSM-126	16-114	炭の少ない褐色土層	4～5		2000.5.29	058	
NSM-127	16-110	ウニ混じり混貝土層	5～6	縄文前期後葉	2000.5.25	127	
NSM-128	16-111	ウニ混じり混貝土層	5～6	縄文前期後葉	2000.5.25	101	貝やや少
NSM-129	16-112	骨を少量含む褐色土層	5	縄文前期後葉	2000.5.26		水成堆積のシルト含
NSM-130	16-115	やや暗い炭の多い暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	2000.5.29		
NSM-131	16-117	炭の少ない暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	2000.5.30	082・116	
NSM-132	16-116	やや明るい炭の少ない暗褐色土層	4		2000.5.29		
NSM-133	16-128	地山混じり褐色土層	4		2000.6.6		
NSM-134	16-119	灰混じり魚骨ブロック	4～5		2000.5.31	(022)	
NSM-135	16-118	骨混じりの暗褐色土層	5		2000.5.31	(022)	
NSM-136	16-120	骨混じり灰混じり暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	2000.6.1	013・(022)・091	
NSM-137	16-121	暗い灰混じり暗褐色土層	5～6	縄文前期後葉	2000.6.1	040・057	
NSM-138	16-122	ウニ・貝混じり暗褐色土層	5		2000.6.2		

第2表 北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(2)

層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-139	16-123	ウニ層	5	縄文前期後葉	2000.6.2		
NSM-140	16-126	灰混じり褐色土ブロック	5		2000.6.5		
NSM-141	16-124	魚骨層	5		2000.6.2		ブリ多
NSM-142	16-125	ウニ層	5		2000.6.5		
NSM-143	16-127	骨混じり暗褐色土層	5		2000.6.6		
NSM-144	16-129	ウニ混じり骨混じり暗褐色土層	5		2000.6.6	(024)・078	
NSM-145	16-130	一部灰混じり魚骨層	5		2000.6.7		
NSM-146	16-131	イガイ主体の混土貝層	5		2000.6.7	(024)・158	
NSM-147	16-132	ウニ混じり混貝土層	4～5		2000.6.7	(024)	
NSM-148	16-133	やや明るい魚骨混じり混貝土層	5		2000.6.8	030	
NSM-149	16-134	骨混じり土層	5～6	縄文前期後葉	2000.6.8		貝層を覆う
NSM-150	16-135	貝混じり魚骨層	5～6	縄文前期後葉	2000.6.12		
NSM-151	16-136	破碎貝層	5～6	縄文前期後葉	2000.6.12	083	
NSM-152	16-137	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.6.13		
NSM-153	16-138	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.6.13		貝少
NSM-154	16-139	礫混じり混貝土層	5～6	縄文前期後葉	2000.6.15	035・138	土器多
NSM-155	16-140	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.6.15	002・054・099・112・165	
NSM-156	16-141	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.6.19	055・100	
NSM-157	16-142	やや明るいウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.6.19		
NSM-158	16-145A	混貝土層	5		2000.6.23		骨なし
NSM-159	16-143	貝混じり灰混じり暗褐色土層	4		2000.6.19	039	
NSM-160	16-144	褐色土混じり灰層	4～5	縄文前期後葉	2000.6.20	051	
NSM-161	16-146	ウニを少量含む土層	5		2000.6.26	028・029	
NSM-162	16-145B	骨混じり混貝土層	5～6		2000.6.23	001・145	アワビ主体
NSM-163	16-147	暗褐色土層	4～5		2000.6.26		
NSM-164	16-148	ウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.6.26	(004)	
NSM-165	16-149	骨混じり褐色土層	4		2000.6.27		
NSM-166	16-152	灰混じり層褐色土層	4		2000.6.27		
NSM-167	16-151	15-C04を含む 灰混じり褐色土層	3～4		2000.6.27		暗褐色土を含む
NSM-168	16-153	灰混じり暗褐色土層	4～5		2000.6.27	111・163	
NSM-169	16-154	褐色土層	4		2000.6.29		
NSM-170	15-C05	やや赤い暗褐色土層	3		1999.7.2		
NSM-171	15-C06	暗褐色土層	3		1999.7.2		
NSM-172	16-155	炭混じり暗褐色土層	4	縄文前期後葉	2000.6.29	042	
NSM-173	16-156	灰混じり暗褐色土層	4	縄文前期後葉	2000.6.29	031・084	
NSM-174	16-157	焼土混じり暗褐色土層	3～4		2000.6.30		
NSM-175	16-158	やや暗い炭混じり暗褐色土層	3～4		2000.6.30		
NSM-176	16-159	灰まじり暗褐色土層	4		2000.7.3		
NSM-177	16-160	やや暗い炭混じり暗褐色土層	4		2000.7.3	016・037	
NSM-178	16-162	暗褐色土層	4		2000.7.4		ウニ・炭少
NSM-179	16-161	灰混じりウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.7.3	(004)・077	
NSM-180	16-163	褐色土粒混じり暗褐色土層	4～5		2000.7.4		
NSM-181	16-164	灰混じり暗褐色土層	4		2000.7.4		
NSM-182	16-165	褐色土層	3～4		2000.7.6	171	
NSM-183	16-166	15-C07・16-168・16-177を含む 灰混じり暗褐色土層	3～4		2000.7.6	062・120	一部魚骨層を含む
NSM-184	16-167	ウニ層	5		2000.7.6	063	
NSM-185	16-170	ウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.7.10	052・164	
NSM-186	16-169	貝混じり暗褐色土層	5		2000.7.7	(004)	
NSM-187	15-C09	14-NS1を含む 褐色土層	2～3		1999.7.9		
NSM-188	16-201	魚骨層	4		2000.9.7		ヒレが主体
NSM-189	15-C13	14-NS2を含む 褐色土層	2～3		1999.7.21		炭少
NSM-190	16-172	炭混じり灰層	4		2000.7.27	151	
NSM-191	16-171	暗い炭混じり暗褐色土層	4		2000.7.25		
NSM-192	16-173	炭混じり暗褐色土層	5		2000.7.27		
NSM-193	16-174	ウニ層	4		2000.7.27		
NSM-194	16-175	炭混じり暗褐色土層	4～5		2000.7.31	038	
NSM-195	16-176	ウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.8.3		
NSM-196	16-181	暗い炭混じり暗褐色土層	4		2000.8.4		
NSM-197	16-178	ウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.8.3		ウニ少
NSM-198	16-182	灰まじり暗褐色土層	4		2000.8.7		
NSM-199	16-184	ウニ層	4～5		2000.8.8		
NSM-200	16-185	ウニ混じり暗褐色土層	4		2000.8.8		
NSM-201	16-189	灰混じり褐色土層	4		2000.8.21		
NSM-202	16-190	灰混じりウニ混じり暗褐色土層	4		2000.8.22	011	
NSM-203	16-191	ウニ混じり暗褐色土層	4		2000.8.23		ウニ少
NSM-204	16-192	灰混じり暗褐色土層	4		2000.8.24		
NSM-205	16-193	ウニ混じり灰混じり暗褐色土層	4		2000.8.25		
NSM-206	16-194	暗褐色土層	4		2000.8.25		

第3表 北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(3)



層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-207	16-195	ウニ混じり暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	2000.8.25	014・(183)	
NSM-208	16-179	暗褐色土層	5		2000.8.4	005	
NSM-209	16-180	やや明るいウニ混じり暗褐色土層	5		2000.8.4		
NSM-210	16-183	ウニ混じり魚骨ブロック	5		2000.8.7		
NSM-211	16-186	貝混じり暗褐色土層	5		2000.8.10		
NSM-212	16-196	ウニ混じり灰層	4～5		2000.8.28		
NSM-213	16-187	混貝土層	5		2000.8.10	132	
NSM-214	16-188	アワビ主体混貝土層	5		2000.8.21		
NSM-215	16-197	暗褐色土層	5		2000.9.6		
NSM-216	16-198	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.9.6		
NSM-217	16-199	ウニ混じり暗褐色土層	5		2000.9.7		獣骨
NSM-218	16-200	ウニ混じり灰混じり暗褐色土層	5	縄文前期後葉	2000.9.7	098	
NSM-219	16-202	灰混じり暗褐色土層	4	縄文前期後葉～中葉	2000.9.8		
NSM-220	16-203	暗い灰混じり暗褐色土層	4		2000.9.8	064	
NSM-221	16-205	暗褐色土層	4		2000.9.14		
NSM-222	16-206	灰・焼土混じり暗褐色土層	4		2000.9.14	152	
NSM-223	16-204	炭混じり暗褐色土層	4		2000.9.8	125・(183)	
NSM-224	16-207	魚骨層	4		2000.9.14	118	
NSM-225	16-209	ウニ混じり暗褐色土層	4～5		2000.9.18	085	ウニ少
NSM-226	16-208	魚骨層ほか(混)	4		2000.9.14	047	
NSM-227	16-210	魚骨層を含むウニ混じり暗褐色土層	4		2000.9.18		
NSM-228	16-212	ウニ混じり骨混じり暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉	2000.9.19		
NSM-229	16-211	貝混じりウニ混じり暗褐色土層	4		2000.9.18	159	
NSM-230	16-213	灰混じり骨混じり暗褐色土層	4		2000.9.19		
NSM-231	16-214 15-C08を含む	暗褐色土混じり魚骨層	3～4		2000.9.19		炭多
NSM-232	15-C10	魚骨層	3		1999.7.9	046	
NSM-233	16-215A	魚骨混じり暗褐色土層	3～4		2000.9.20		炭少～中・小粒
NSM-234	16-215B	魚骨混じりブロック	4		2000.9.20		炭少～中・小粒
NSM-235	15-C12	灰層	3		1999.7.21		
NSM-236	16-216 15-C11を含む	暗褐色土混じり灰層	3～4	縄文前期中葉	2000.9.20	020-066	貝少
NSM-237	15-C14	やや暗い魚骨層	3		1999.7.22		カツオ主体
NSM-238	16-217 15-C16を含む	灰混じり暗褐色土層	3～4		2000.9.21	087・148・153	部分的にウニを多く含む
NSM-239	16-218	灰混じり炭混じり暗褐色土層	4		2000.9.21		ウニ少
NSM-240	15-C17	ウニ混じり灰層	3～4		1999.7.26		
NSM-241	15-C18	やや暗い灰層	3		1999.7.26	108	
NSM-242	16-219	炭混じり暗褐色土層	4		2000.9.25	027	炭大粒
NSM-243	15-C15	やや暗い魚骨層	3		1999.7.22		
NSM-244	15-C15B 14-NS4を含む	やや暗い炭混じり暗褐色土層	2～3		1999.10.6		
NSM-245	15-C15C	やや暗い腐った魚骨層	2～3		1999.10.6		
NSM-246	15-C15D	やや暗い炭混じり暗褐色土層	3		1999.10.7		魚骨含
NSM-247	15-C15E	地山ブロック層	3		1999.10.7		
NSM-248	15-C15F 14-NS5を含む	やや暗い暗褐色土層	2～3		1999.10.7		
NSM-249	15-C15G 14-NS6A・14-NS6Bを含む	やや炭混じり暗褐色土層	2～3		1999.10.8		
NSM-250	15-C15H 14-NS6C・A8を含む	腐った骨混じり暗褐色土層	2～3		1999.10.9		
NSM-251	16-220	魚骨混じり暗褐色土層	4～5		2000.9.26	166	
NSM-252	16-221	骨混じり暗褐色土層	4～5		2000.9.26	181	
NSM-253	16-222	骨混じり暗褐色土層	4		2000.9.27	179	
NSM-254	16-223	ウニ混じり暗褐色土層	4		2000.10.4	109	貝少
NSM-255	16-224	炭混じり暗褐色土層	4		2000.10.4		
NSM-256	16-226	灰ブロック	4		2000.10.5		
NSM-257	16-227	炭混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.5	012	
NSM-258	16-225	炭混じり暗褐色土層	4		2000.10.5	103	
NSM-259	16-228	炭混じり暗褐色土層	4		2000.10.6		
NSM-260	16-229	炭混じり暗褐色土層	4		2000.10.10		炭小粒
NSM-261	16-230	ウニ層	4	縄文前期中葉	2000.10.10	021・036・150	
NSM-262	16-232	やや暗い暗褐色土層	3～4		2000.10.11		ウニや貝少
NSM-263	16-233	細かい魚骨混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.12		
NSM-264	16-234	やや明るいウニ混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.12		
NSM-265	16-235 15-C19を含む	灰混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.12		ウニ等少
NSM-266	15-C20	ウニ層	3～4		1999.7.27	142	
NSM-267	15-C23	灰層	3		1999.8.19		
NSM-268	16-236 15-C21を含む	魚骨混じり灰混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.12	097	
NSM-269	16-231	アワビ主体の貝混じり暗褐色土層	4～5	縄文前期後葉～中葉	2000.10.11	079・080・096	
NSM-270	16-237	ウニ層	4		2000.10.13	010・102・104	
NSM-271	16-238	貝混じりウニ層	4	縄文前期後葉	2000.10.16		
NSM-272	16-239 15-C22を含む	灰混じり炭混じり暗褐色土層	3～4	縄文前期中葉	2000.10.16	015・119	
NSM-273	15-C24	灰混じり骨混じり暗褐色土層	3		1999.8.19		
NSM-274	16-240 15-C25を含む	灰混じり暗褐色土層	3～4		2000.10.19	007・133	一部魚骨多

第4表 北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(4)

層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-275	16-243	やや締まりのない灰混じり暗褐色土層	3~4		2000.11.6	065	
NSM-276	16-241	貝混じりウニ層	4~5		2000.10.19		
NSM-277	16-242	貝混じりウニ層	4~5	縄文前期後葉	2000.10.19	060・113	貝多
NSM-278	16-244 15-C26を含む	やや締まりのない灰混じり暗褐色混土層	3~4		2000.11.7		破碎貝主体
NSM-279	16-245	破碎貝混じり骨混じりウニ層	3~4		2000.11.7	068	
NSM-280	16-246 15-C27を含む	イガイ主体の暗褐色混土層	3~4		2000.11.8		マグロやや多
NSM-281	16-247	炭混じり骨混じり暗褐色土ブロック	4		2000.11.9		
NSM-282	16-248	イガイ主体の混貝土層	4~5		2000.11.10	018・081・095	
NSM-283	17-249	破碎貝層	4~5	縄文前期後葉	2001.7.4	003・176	
NSM-284	17-250	混貝土層	4~6		2001.8.8	032	
NSM-285	17-251	混骨土層	3~4		2001.8.8	115	ウニ棘多
NSM-286	15-C28	貝混じり暗褐色土層	3				
NSM-287	17-254	混貝土層	3		2001.8.24		
NSM-288	17-255	魚骨混じりウニ層	3		2001.8.30		
NSM-289	17-256	魚骨混じり暗褐色土層	3		2001.9.3		マグロ等
NSM-290	17-258	灰層	3		2001.9.3		
NSM-291	17-257	灰層	3		2001.9.3		
NSM-292	17-260	マグロ混じり暗褐色土層	3		2001.9.6		
NSM-293	17-261	暗褐色土層	3		2001.9.7		
NSM-294	17-262	灰混じり暗褐色土層	3		2001.9.7		
NSM-295	17-252 17-253を含む	混貝土層	4		2001.8.21		
NSM-296	17-259	魚骨層	4		2001.9.6		
NSM-297	17-263	混貝土層	3~4		2001.9.13	107・136・144	
NSM-298	17-264 17-262Bを含む	やや暗い灰混じり暗褐色土層	3		2001.9.13	070	
NSM-299	17-266	カサガイ類主体の貝層	3		2001.9.17		
NSM-300	17-265	混貝土層	3~4		2001.9.17		
NSM-301	17-267	ウニ層	3		2001.9.17		棘主体
NSM-302	17-268	混貝土層	3~4		2001.9.18		
NSM-303	17-270	破碎貝ブロック	3		2001.9.19		
NSM-304	17-271	ウニ混じり暗褐色土層	3		2001.9.20		
NSM-305	17-269	破碎貝層	4~5		2001.9.19	129	
NSM-306	17-272	マグロ混じり暗褐色土層	3~4		2001.9.21		
NSM-307	17-274	ウニ・魚骨混じり暗褐色土層	3		2001.9.25		
NSM-308	17-275	灰混じり暗褐色土層	3~4		2001.9.26		魚骨ブロック含
NSM-309	17-272B	貝混じり・ウニ混じり暗褐色土層	3~4		2001.9.21		
NSM-310	17-273	マグロ混じり暗褐色土層	4~5	縄文前期前葉	2001.9.25		
NSM-311	17-273B	骨混じり暗褐色土層	4	縄文前期中葉	2001.10.4		
NSM-312	17-276	カサガイ類主体のブロック	3		2001.9.26		
NSM-313	17-277	灰混じり暗褐色土層	3		2001.9.26		マダイ多
NSM-314	17-278	地山混じり暗褐色土層	3		2001.9.27		
NSM-315	17-279	混貝土層	3	縄文前期後葉~中葉	2001.9.27	(124)	破碎貝
NSM-316	17-280	魚骨・貝混じり暗褐色土層	3		2001.9.27	(124)・177	
NSM-317	17-283	破碎貝層	3~4		2001.10.3	019・(124)・184	
NSM-318	17-284	混貝土層	4~5	縄文前期中葉	2001.10.9	025	マグロ含
NSM-319	17-281	骨混じり炭混じり暗褐色土層	2~3		2001.9.28		
NSM-320	17-282	炭混じり暗褐色土層	3		2001.10.2		
NSM-321	17-285	混貝土層	2~3		2001.10.9		
NSM-322	17-286	破碎貝層	2~4	縄文前期中葉	2001.10.12	089	
NSM-323	15-201 14-A7を含む	やや明るい暗褐色土層	2		1995.6.1		
NSM-324	17-290 15-202・14-A6を含む	魚骨混じり暗褐色土層	2~3		2001.10.22		
NSM-325	17-287	混貝土層	3~4	縄文前期中葉	2001.10.17	088	貝多
NSM-326	17-288	混貝土層	3		2001.10.22	072・074	
NSM-327	17-289	混貝土層	3		2001.10.22		
NSM-328	17-291	炭混じり魚骨層	2~3		2001.10.25		
NSM-329	18-296	破碎貝混じり暗褐色土層	3		2002.6.10		
NSM-330	17-292 15-204を含む	灰混じり混貝土層	2~3		2001.10.25		一部魚骨多
NSM-331	15-203 14-A5を含む	暗褐色土層	2	縄文前期中葉	1995.6.8		
NSM-332	17-293 15-205を含む	骨混じり灰層	2~3		2001.10.26	023	
NSM-333	15-206	骨混じり層	2		1995.6.11		
NSM-334	17-294	貝混じり灰層	2~3		2001.10.26		
NSM-335	18-295	混貝土層	2~3		2002.6.10		
NSM-336	18-297	灰混じり混貝土層	3		2002.9.9		
NSM-337	18-305	赤褐色土層	2		2002.11.13		
NSM-338	18-298	暗褐色混土層	3~4		2002.9.10		破碎貝層
NSM-339	18-301	褐色混土層	3		2002.9.12		
NSM-340	18-299	暗褐色混土層	3~4	縄文前期中葉	2002.9.11		破碎貝層、貝やや少
NSM-341	18-300	破碎貝層	3~4	縄文前期中葉	2002.9.11		
NSM-342	18-302	褐色混土層	3~4		2002.10.16		

第5表 北貝塚第15次~第19次調査層序一覧表(5)

層名	旧層名	層の特徴	グリッド	出土土器片	調査年月日	骨角器番号	備考
NSM-343	18-303	混貝土層	3～4		2002.11.11	041・122・174	
NSM-344	18-304	混貝土ブロック	2～3		2002.11.13	067	貝少
NSM-345	18-306	炭混じり暗褐色土層	2		2002.11.14		
NSM-346	18-307	焼土混じり混貝土層	2～3		2002.11.14	178	
NSM-347	18-308	褐色混貝土層	2～3	縄文前期中葉	2002.11.15		
NSM-348	18-309	焼けた貝層	2～3		2002.11.18		
NSM-349	18-310	炭混じり暗褐色土層	2		2002.11.18		貝少
NSM-350	19-312	混貝土層	2～3	縄文前期中葉	2003.5.26	049・094	
NSM-351	19-311	混貝土層	3～4	縄文前期中葉	2003.5.22	048・075	
NSM-352	19-315	骨混じり炭混じり暗褐色土層	2	縄文前期中葉	2003.5.28		
NSM-353	19-313	混貝土層	3		2003.5.27	155	
NSM-354	19-316	混貝土層	2～3		2003.5.28		
NSM-355	19-314	混貝土層	3～4	縄文前期中葉	2003.5.27		
NSM-356	19-323	混貝土層	4～6	縄文前期中葉	2003.6.6		
NSM-357	19-317	混貝土層	2～3		2003.6.2	105・141	貝少
NSM-358	19-319 14-A4を含む	炭混じり暗褐色土層	1～2	縄文前期中葉	2003.6.4		
NSM-359	19-318	混貝土層	2～3	縄文前期中葉	2003.6.3		
NSM-360	19-320	混貝土層	2～3		2003.6.5		貝少
NSM-361	19-321	混貝土層	2～3		2003.6.5		
NSM-362	19-322	混貝土層	2～3	縄文前期中葉	2003.6.6		焼き貝混じり層
NSM-363	19-324	火山灰混じり混貝土層	3～4		2003.6.20		
NSM-364	19-326	火山灰混じり暗褐色土層	2～3	縄文前期前葉	2003.6.30		
NSM-365	19-325	火山灰混じり混貝土層	4～6		2003.6.23		
NSM-366	19-327	火山灰層	1～6		2003.7.3		
NSM-367	19-328	火山灰混じり暗褐色土層	1～5	縄文前期前葉	2003.7.14	050	
NSM-368	19-329	火山灰混じり混貝土層	2～4	縄文前期前葉	2003.7.22		
NSM-369	19-330 14-A2を含む	腐った骨混じり土層	1～2		2003.8.7	093	
NSM-370	19-331	混貝土層	2～3		2003.8.19	006・073	
NSM-371	19-332	炭混じり暗褐色土層	2		2003.8.20		
NSM-372	19-335 14-A1を含む	炭混じり暗褐色土層	1～2	縄文前期前葉	2003.8.21		
NSM-373	19-334	焼土混じり灰層	2		2003.8.21		
NSM-374	19-336	混貝土層	2	縄文前期前葉	2003.8.22		
NSM-375	19-333	破砕貝層	2～3	縄文前期前葉	2003.8.20	043・076・161・167・180	
NSM-376	19-338	やや明るい混貝土層	2		2003.8.26	169	
NSM-377	19-337	暗褐色土層	1～2		2003.8.25	157	
NSM-378	19-339	混貝土層	2～3	縄文前期前葉	2003.8.27		
NSM-379	19-340	炭混じり暗褐色土層	1～2	縄文前期前葉	2003.8.28		
NSM-380	19-341	混貝土層	2～3	縄文前期前葉	2003.9.1	056・156	貝多
NSM-381	19-344	暗褐色混貝土層	2	縄文前期前葉	2003.9.10		
NSM-382	19-343	暗褐色混貝土層	3～4	縄文前期前葉	2003.9.9	170	
NSM-383	19-342	暗褐色土層	5～6		2003.9.5		
NSM-384	19-345	混貝土層	2～4		2003.9.11	117・160	貝やや大
NSM-385	19-346	混貝土層	1～2	縄文前期前葉	2003.9.12		貝少
NSM-386	19-348	炭混じり暗褐色土層	1～2		2003.9.17		
NSM-387	19-347	混貝土層	2～5	縄文前期前葉	2003.9.16	059	貝少
NSM-388	19-349	やや暗い混貝土層	2～3		2003.9.24		
NSM-389	19-350	褐色土層	3～4	縄文前期前葉	2003.9.30		貝少量混じり
NSM-390	19-351	褐色土層	4～5	縄文前期前葉	2003.10.1		
NSM-391	19-352	褐色土層	3～4		2003.10.2		
NSM-392	19-353	暗褐色土層	1～5		2003.10.6		
NSM-393	19-354	礫混じり暗褐色土層	5～6		2003.10.14		
NSM-394	19-355	暗褐色土層	2～6		2003.10.16		
NSM-395	19-357	黒褐色土層	4～5		2003.10.24		
NSM-396	19-358	貝混じり黒褐色土層	4～5		2003.10.24		
NSM-397	19-359	暗褐色土層	4～6		2003.10.27		竪穴状
NSM-398	19-356 IIIbに相当	やや暗い暗褐色土層	0～4		2003.10.20		
NSM-399	19-360	暗褐色土層	1～4		2003.11.19		
NSM-400	19-361	暗褐色土層	2～3		2003.11.21		野生動物の生活痕跡か(縄文時代?)
NSM-401	19-362	暗褐色土層	3～4		2003.11.26		
NSM-402	19-363	暗褐色土層	3～4		2003.11.26		

※時期区分は概ね、縄文前期前葉=大木1式以前～大木2式相当期、縄文前期中葉=大木3式～大木4式相当期、縄文前期後葉=大木5式～大木6式相当期、縄文中期前葉=大木7式相当期、縄文中期中葉=大木8式相当期とした。

第6表 北貝塚第15次～第19次調査層序一覧表(6)